

Migawarino

Konyakusya ha

koi ni naku.

約

者

は

わりの
の

身代わりの婚約者は恋に啼く。

婚

約

者

わりの

は

の

身代わりの婚約者は恋に啼く。

漫画 秋月 綾

原作 なかゆんきなこ

Migawarino
Konyakusya ha
koi ni naku.

婚

約

者

は

身代わりの

恋に啼く。

身代わりの婚約者は恋に啼く。



この後みんな
食事に行くんだけど
一緒にどう？



桜井さん



#1



だって仕方ないじゃない

でも
デートにしては
テンション低くない？



ほうー
やほダメだ、たじみん
んー今日こそは、て
思っただけど



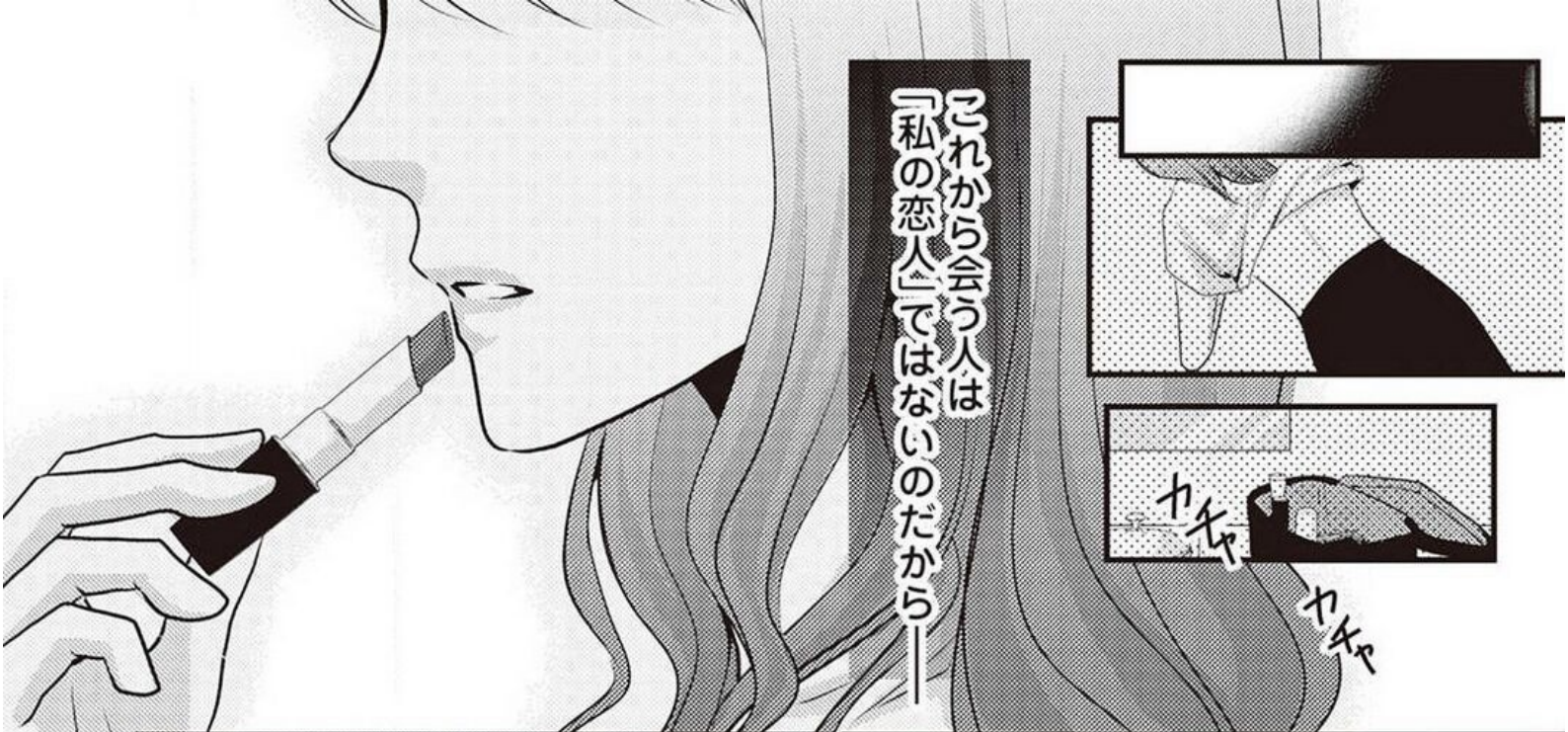
ごめんなさい
今日は先約があつて

いやいや
気にしないごー、

あつもしかして
デート？

…みたいなものです

また
誘ってください



これから会う人は
『私の恋人』ではないのだから――

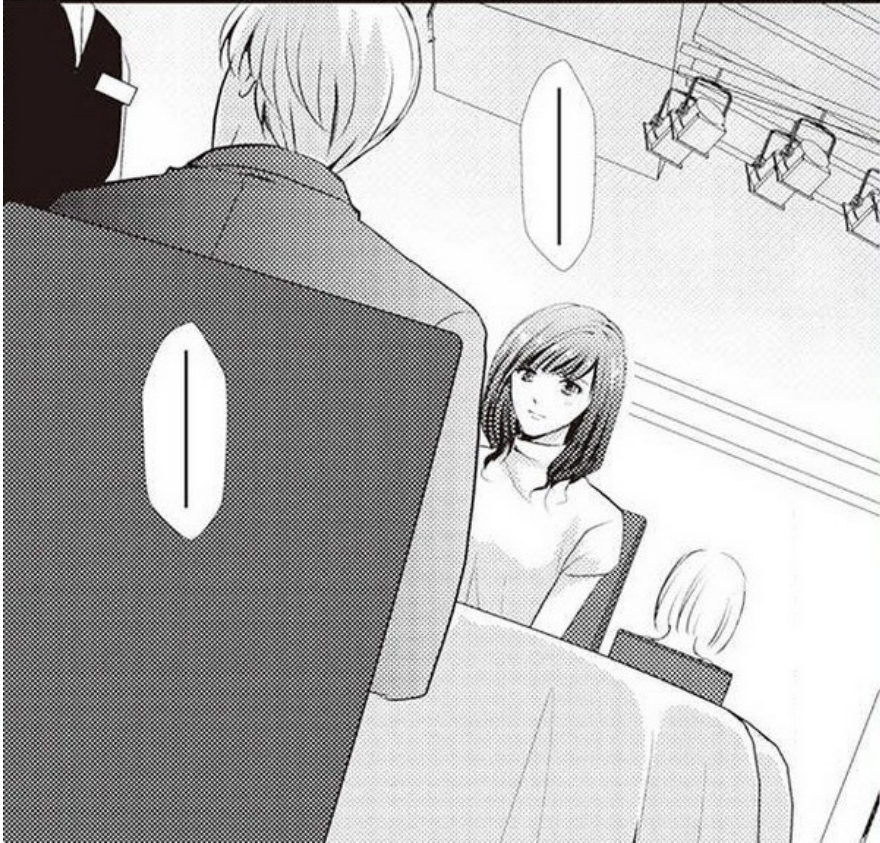


本当に
見た目だけはそっくり





志穂
しほ



ふうま
楓馬さん
お待たせして
すみません

ううん 俺も
着いたばかりだから



今日も綺麗だね
志穂

そのイヤリングも
着けてもらえて嬉しい

よく似合ってるよ

あつありがとうございます
ございます



嬉しいけど…胸が痛い

だって彼が愛しているのは
私じゃない…

みやなぎ
三柳楓馬さん
業界でも一・二を争う大企業
三柳建設の御曹司

今でも
楓馬さんは変わらず姉を想っている

志穂？

亡くなった私の双子の姉
美穂の婚約者だった人

顔が同じ私を
傍に置こうとするくらいに

…っ

…ごめんなさい
ぼうっとして

仕事で疲れているよね？
いつも俺の都合で
呼び出してごめんね

いえ
そんな…

あっこのお料理
すごく美味しいです

よかった

この笑顔も本当は
美穂のもの…

—…ああ

どうして美穂は
死んでしまったんだろう

志穂…





いつも
息が苦しくなる

楓馬さんとのキスは



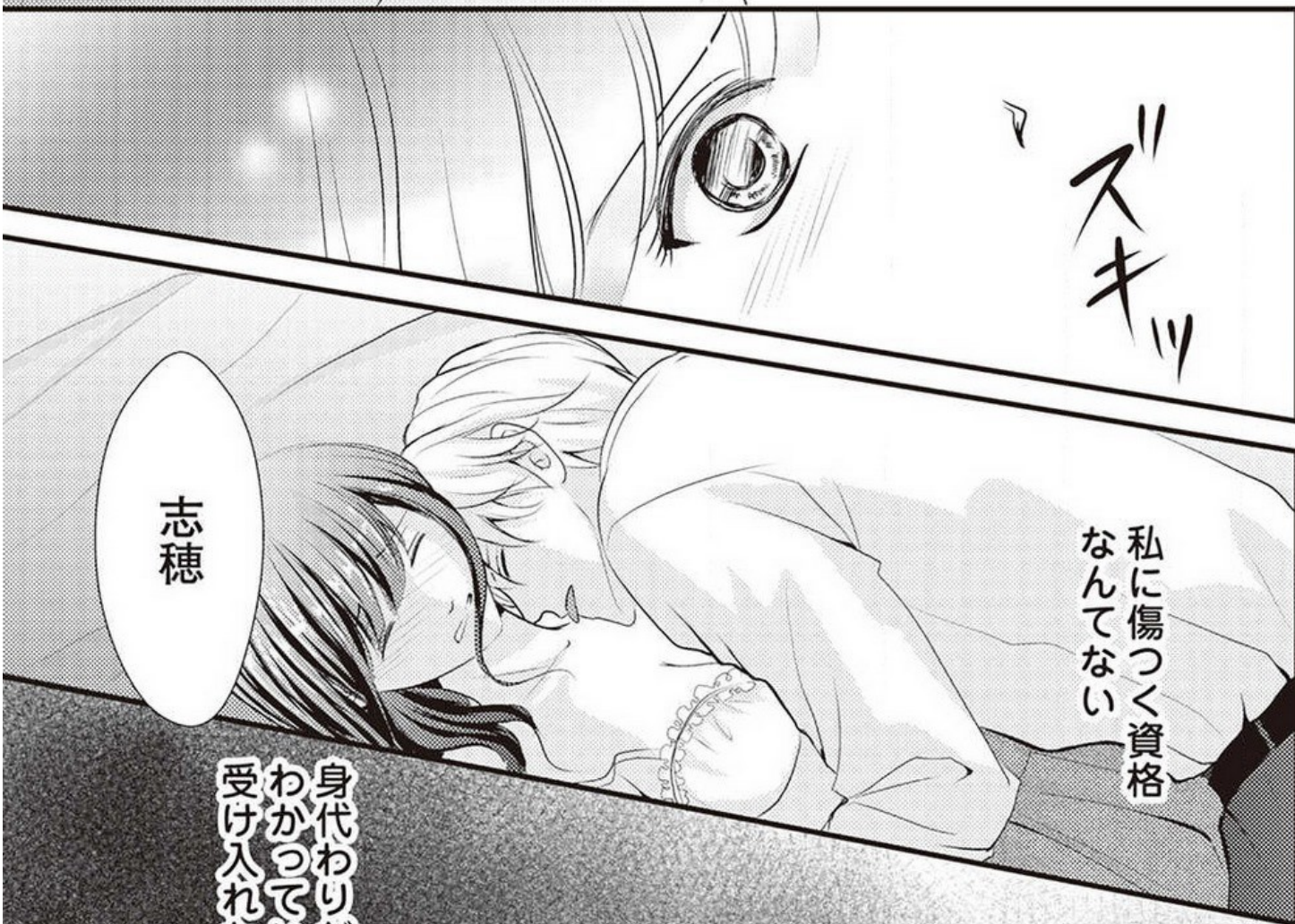
でも…やめられない

やめたくない

志穂

美穂

ぎゃっ



私に傷つく資格
なんてない

志穂

身代わりだと
わかっていて
受け入れたんだから…



ごめんなさい
ごめんなさい…美穂



あつ…

ビクッ



あつ

ああつ…

でも私は彼の手を
振り払うことができない

くちゅ

くちゅ

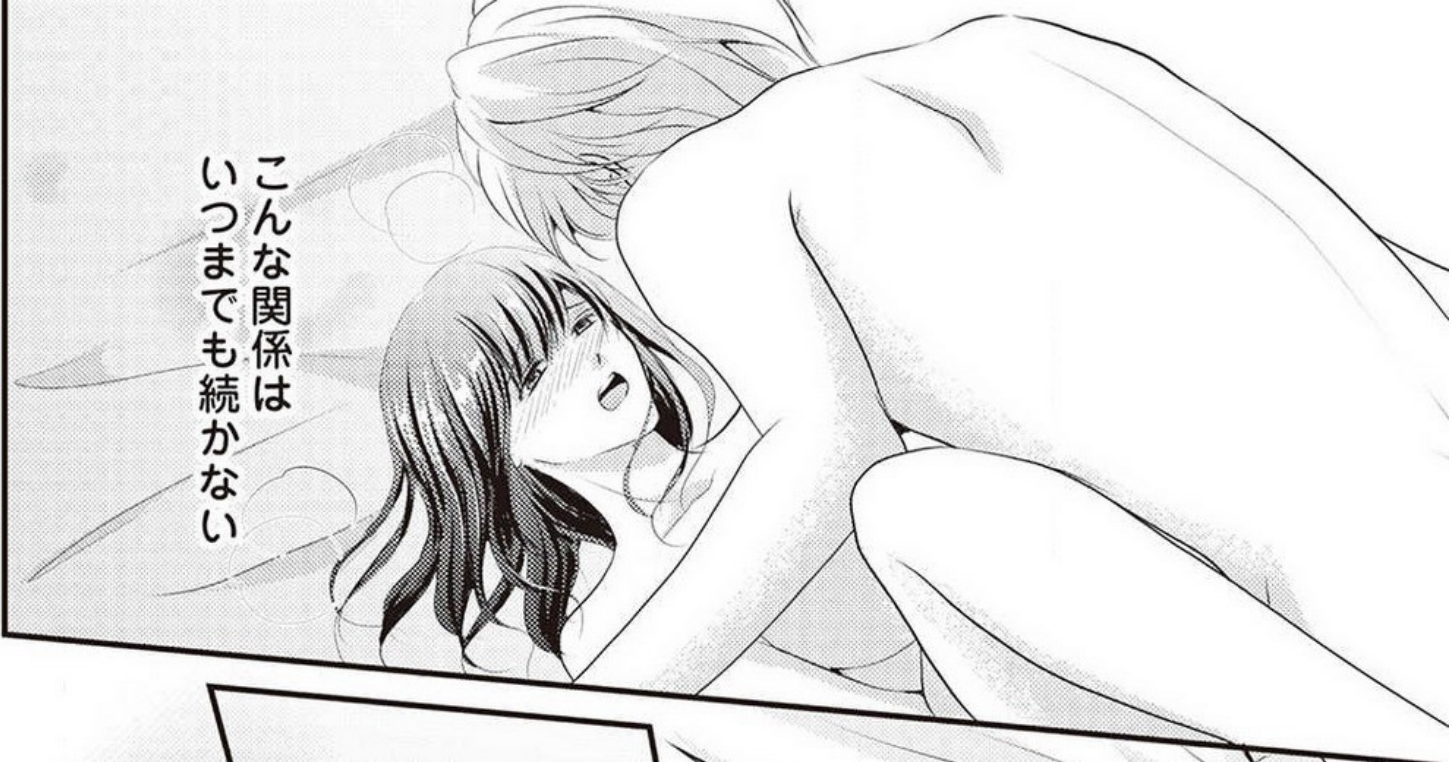
美穂はきっと
怒っているよね

私なんかが楓馬さんに
抱かれているなんて



私も彼を愛しているから……





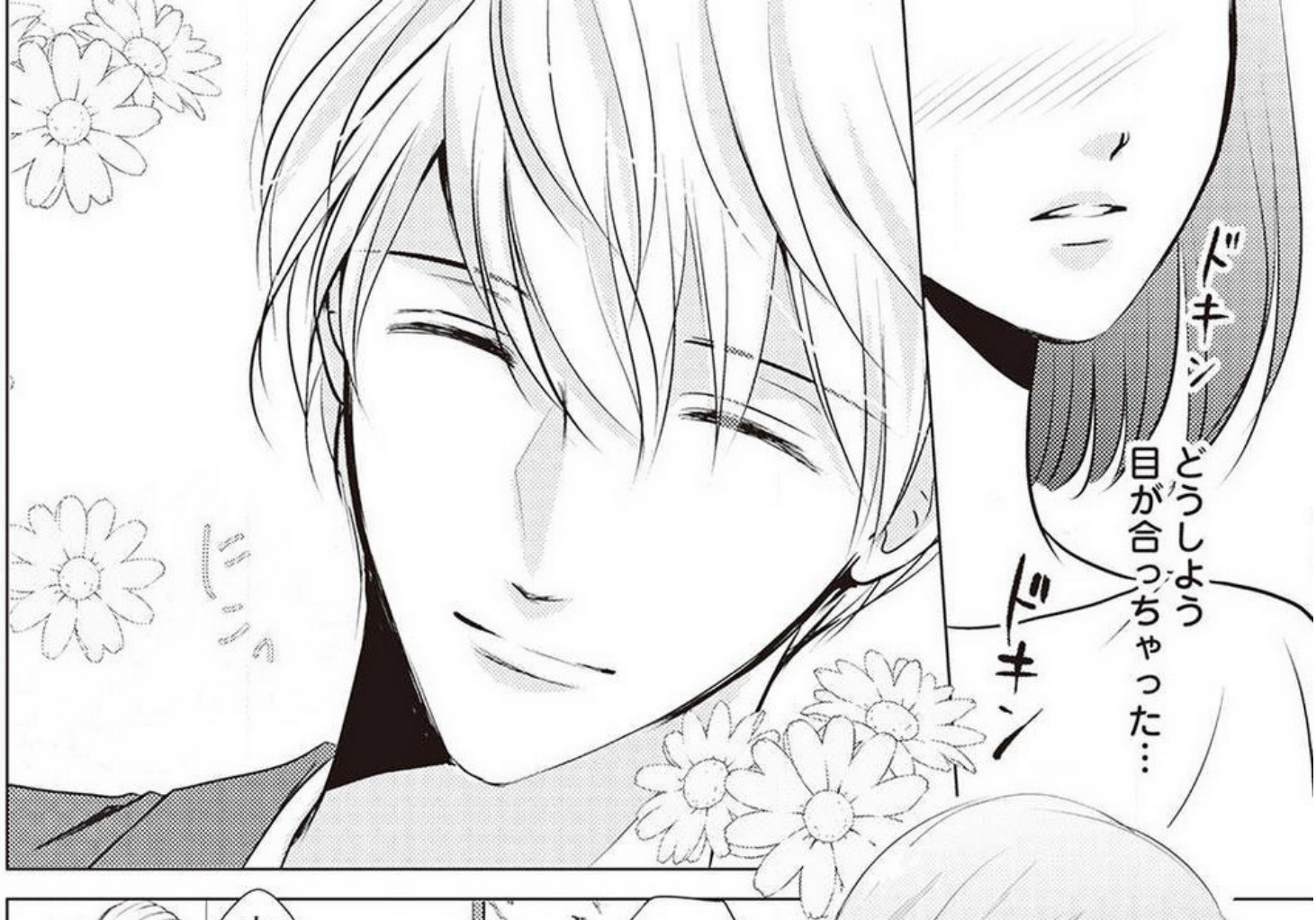
こんな関係は
いつまでも続かない



彼もそのうち
目を覚ますはず

でもその時までは
彼の傍にいたい…





ドキッ どうしよう
目が合っちゃった…

ドキン

にん



ちよつと志穂
あなたも
ご挨拶なさい

すっ
すみません 美穂の
妹の志穂です

志穂…さん

はい



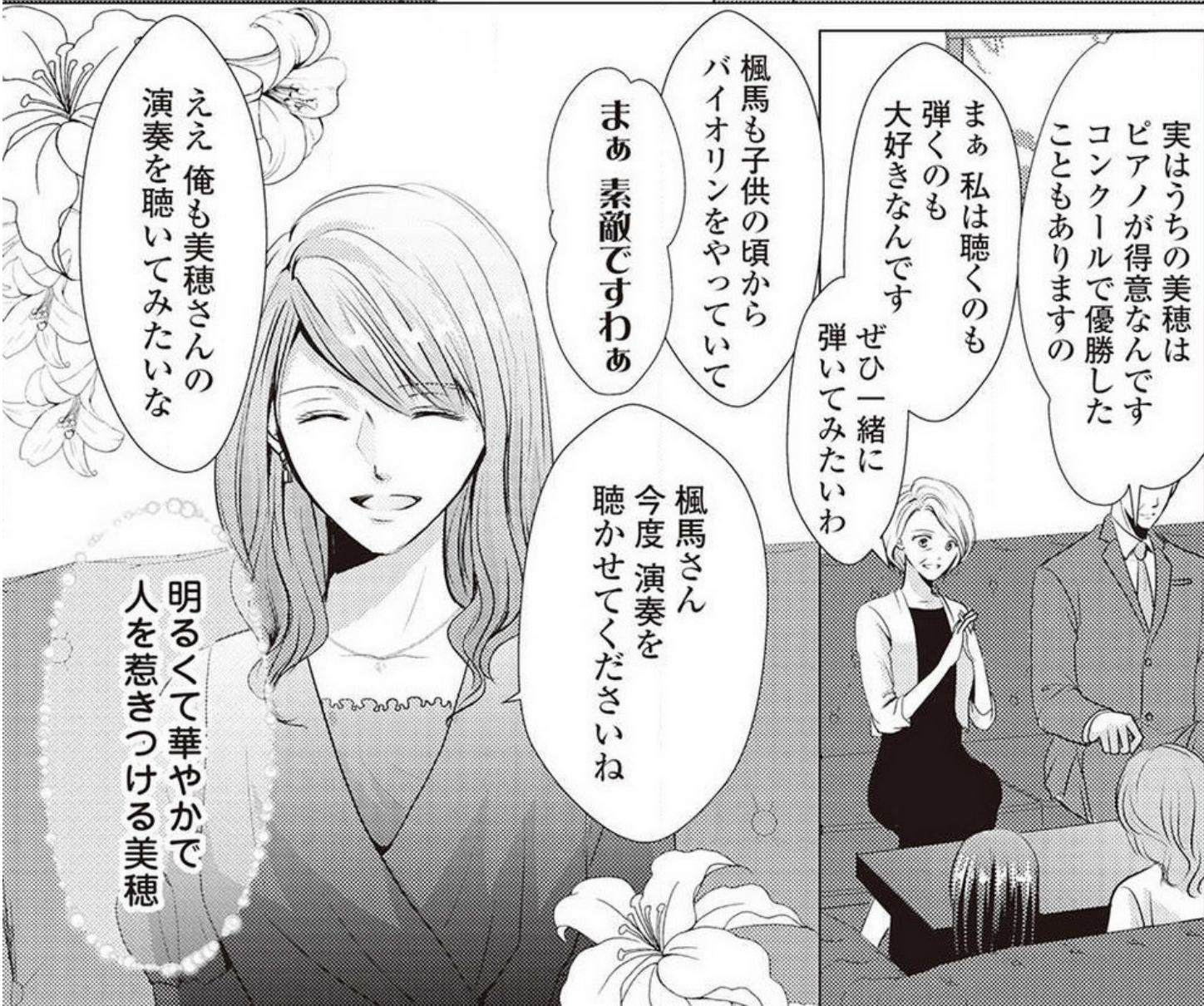
ドキドキが止まらない
頬が熱い…

可愛い名前だね



楓馬さん…

そうそう奥様は
音楽鑑賞がお好きだと
伺いました



実はうちの美穂は
ピアノが得意なんです
コンクールで優勝した
こともありますの

まあ私は聴くのも
弾くのも
大好きなんです

ぜひ一緒に
弾いてみたいわ

楓馬も子供の頃から
バイオリンをやっている

まあ素敵ですわあ

楓馬さん
今度演奏を
聴かせてくださいね

ええ俺も美穂さんの
演奏を聴いてみたいな

明るくて華やかで
人を惹きつける美穂

大人しくて
引っ込み思案な私とは違う

誰が見ても
美穂と楓馬さんは
お似合い

志穂さんも
何か楽器を？

えっ…と私は…

ああ！
志穂は何も

ほほほ

母は昔から
美穂だけを可愛がり
私には目もくれなかった

同じ娘なのに
美穂とあからさまな差を
つけられるのは辛かった

いえねこの子にも
ピアノを習わせようと
したんですけど
すぐやめてしまつて…

この子はあまり
出来が良くなくて

その点、美穂は…

違う

私もピアノ
習いたい

あんたなんか
にできるわけないでしょ

私が家のピアノに
触ることも
許さなかったじゃない

父は仕事第一で
家族には無関心

どうして
あんたは…

志穂のこと
悪く言わないで

志穂は私の
可愛い妹だよ

私には美穂の
存在だけが救いだった

美穂は心まで
綺麗な人――

私には
まぶしすぎるくらい…

楓馬さん…

楓馬さんもきっと
美穂を気に入るだろうな…

楓馬さんは
美穂のお相手

私なんかが好きになって
いい人じゃない

…それでは

え…

“
バタン

…楓馬さん？

目が合ったと思ったけど
気のせいかな…

後日 楓馬さんと美穂は
正式に婚約した

父は大企業の経営者と
縁を結べるとあって
大喜びだった



一応
挨拶した方が
いいよね…

ただいま…

もしかして
楓馬さん？



いいなあ…
私も楽器が弾けたらいいのよ…



…綺麗…



…あつ
今間違えたたる

いいの！コンクールに
出るわけじゃないんだし

そういう
楓馬くんだったて
さっき音外してた

ばれてたか
ははは



美穂はつかり
するいよ！

でも
こんな気持ちを
抱いちゃう自分が
一番嫌だ

じゅん

志穂帰ってるんでしょ？
開けていい？

うん
うん



バタン

今から楓馬くん
勉強を見てもらうんだけど
一緒にどう？

勉強？
ピアノはもう
いいの？

あれは志穂が帰って
くるまでの暇潰し

ほらお互い
テスト期間だし

私は行かない
お邪魔しちゃう悪いし

邪魔じゃないって！
むしろいてくれなきゃ
困る！

必ず来るわ！

あちよつと
美穂…

どうして美穂は
私を誘うんだろう

—この公式を
当てはめて解けば…

母は私が
二人と過ごすことを
快く思っていない

また
叱られるな…

あっホントだ

ねっ簡単でしょ

楓馬くんって
本当に
志穂には丁寧に
教えるよね

私とは
大違い



でも
好きな気持ちは止められなくて――…

でも志穂が
付き合ってくれて
嬉しかった

いえ…
私も楽しかったです

美穂
来れなくて残念でしたね

ごめん！
コンサートの前に
夕食を食べて
おけばよかったね

ごっ
ごめん
なさい

恥ずかしい！
なんてタイミングが
悪いの！！

あ
ちよっと
待ってて

CLASSIC
CONCE

ハイ

あつ…やきいも？

レストランまで
少し時間がかかるからね
一緒に食べよう

俺も演奏中ぐうぐう
鳴ってたんだ

はい
半分コ

ありがとう
ございます





もしあの時
勇気を出して
自分の想いを伝えていたら

もう少し違う未来に
なっていたのかな…

あの頃はまだ
時が経てば
楓馬さんへの想いも薄れて

心から二人の結婚を
祝福できると信じていたのに…



#2

大学生になって
一人暮らしを始めた私は
楓馬さんとも会わなくなった

ただと二年前の
あの日

美穂から電話が
かかってきて…

ブルブル…

志穂？

あれから二年か…

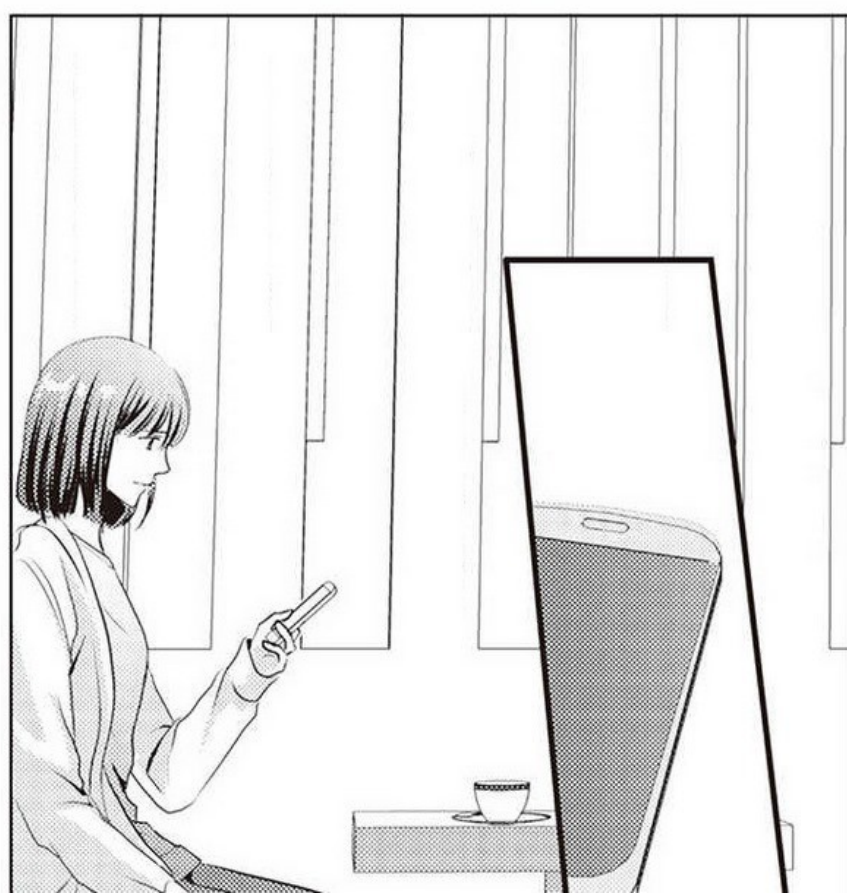


いよいよ…私の手の届かない人になるんだ

もしかして…結婚が
決まったんだろうか…

どうしても
二人っきりで会って
話したいことが
あるの

会って話したいなんて…



二人が結婚することは
わかってたのに…

美穂に笑って
おめでとうって言えるかな…



美穂
遅いなあ…

何も連絡がないのは
美穂らしくない…
なんだか妙な胸騒ぎがする

プルルルル

三柳楓馬さん

…はい
もしもし

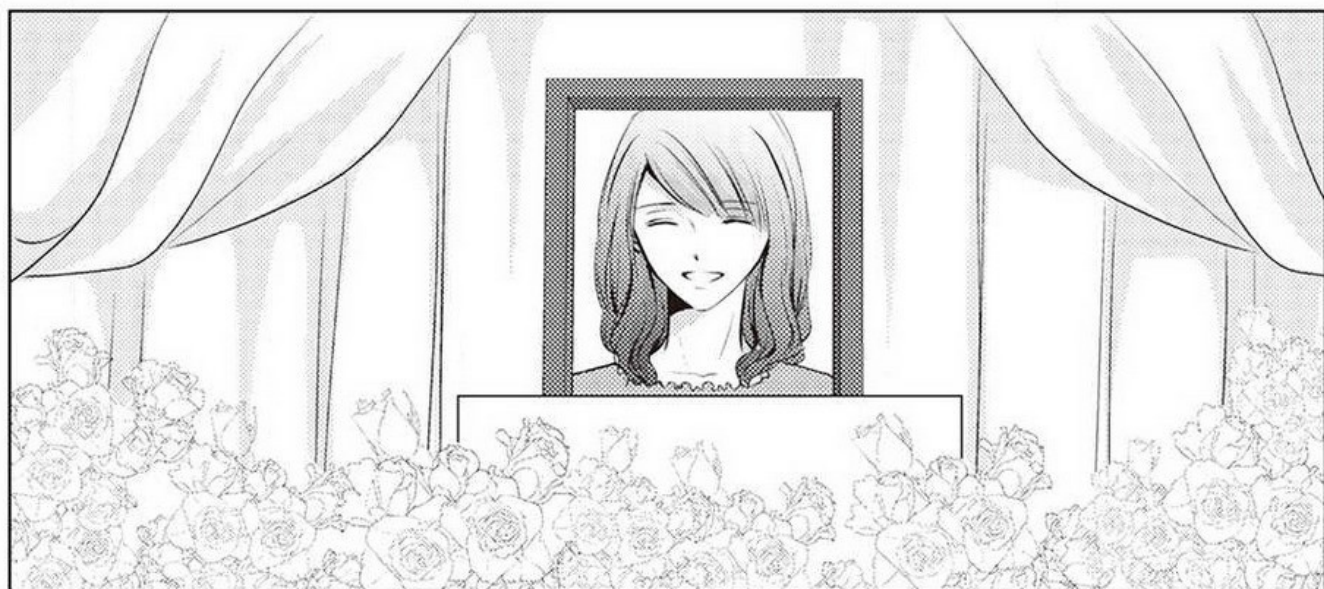
楓馬さん…？

志穂!?
今どこにいる!?

美穂が
美穂が…っ！

美穂は私に会いに来る途中
信号無視をしたトラックに
はねられて

搬送先の病院で
息を引き取った



美穂…





あつ
ごめんなさつ...

ドン



きつと悪い夢を
見ているんだ

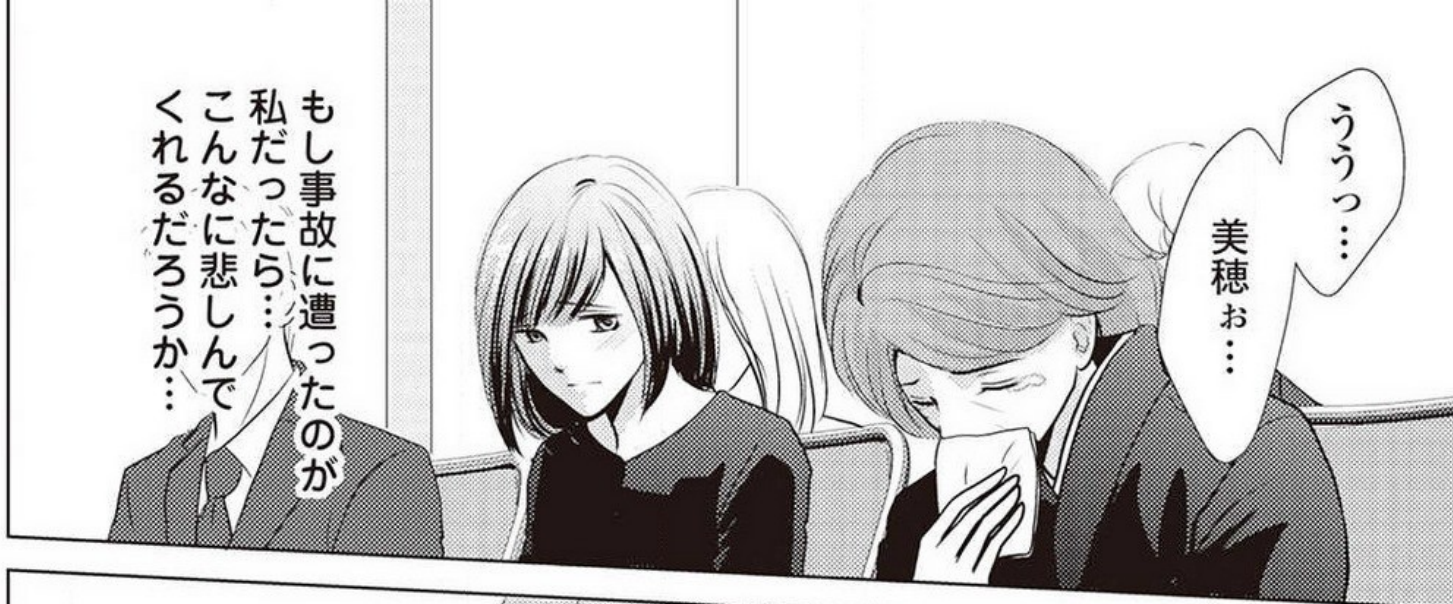
こんなに突然
この世を去るなんて...



美穂はこんなにたくさんの人達に
慕われていたんだ...



恩師の方かな...



ううっ…

美穂お…

もし事故に遭ったのが
私だったら…
こんなに悲しんで
くれるだろうか…



こんな時まで
美穂に嫉妬するなんて

こんな自分が大嫌いだ…



お前…
悲しいのはわかるが
いい加減にしなさい

みつともせい

お父さん
そんな言い方…

葬儀には俺の会社関係の
人間も来てるんだ
恥ずかしい姿を晒すな

やめて

うるさい！

いいか
どんなに泣いたって
美穂はもう帰ってこないんだ
いい加減諦めろ！

おか……

あ…んた
あんたが…っ

なんで
あんたが生きていて…
美穂…美穂…

美穂の代わりに
あんたが死んでよ！
美穂を返して！！

やめろ！
こんな所で騒ぐな！
俺が恥をかくだろうが！

あなたはいつも
自分のことばかり！

美穂の縁談だって
会社のためにつ

黙りなさい！

志穂はもう帰りなさい

そんな顔でいられたら
何があったのかと思われる

どうしてここまで
母に憎まれてるんだろう…



でも母の言う通り
みんなに：楓馬さんに愛されてる
美穂が生きてるべきだったんだ

もう…疲れた



志穂
どこ行くの？

：私：ちよつと
用事ができて：

用事？

さつき
おばさんの叫び声が
聞こえたけど何が：

…っ
その頬…

もしかして…
おばさんに…？

…たいしたこと
ないですよ

でも
こんなに腫れて…

母は美穂を亡くして
少し…
おかしくなってるんです

だからって
志穂を責めるのは
間違ってる

志穂は何も
悪くないのに

楓馬さん…

本当は辛いのに…

…ごめんなさい

ごめんなさい

わたし

私が…美穂に会おうと

しなければ…

美穂は死ななくて

済んだかもしれない

むしろ私が美穂の代わりに…っ

志穂

…あの事故に志穂まで
巻き込まれなくて
よかったと思ってる

…君が生きていてくれて
俺は嬉しい

ありがとうございます

楓馬さん…

…送っていくよ

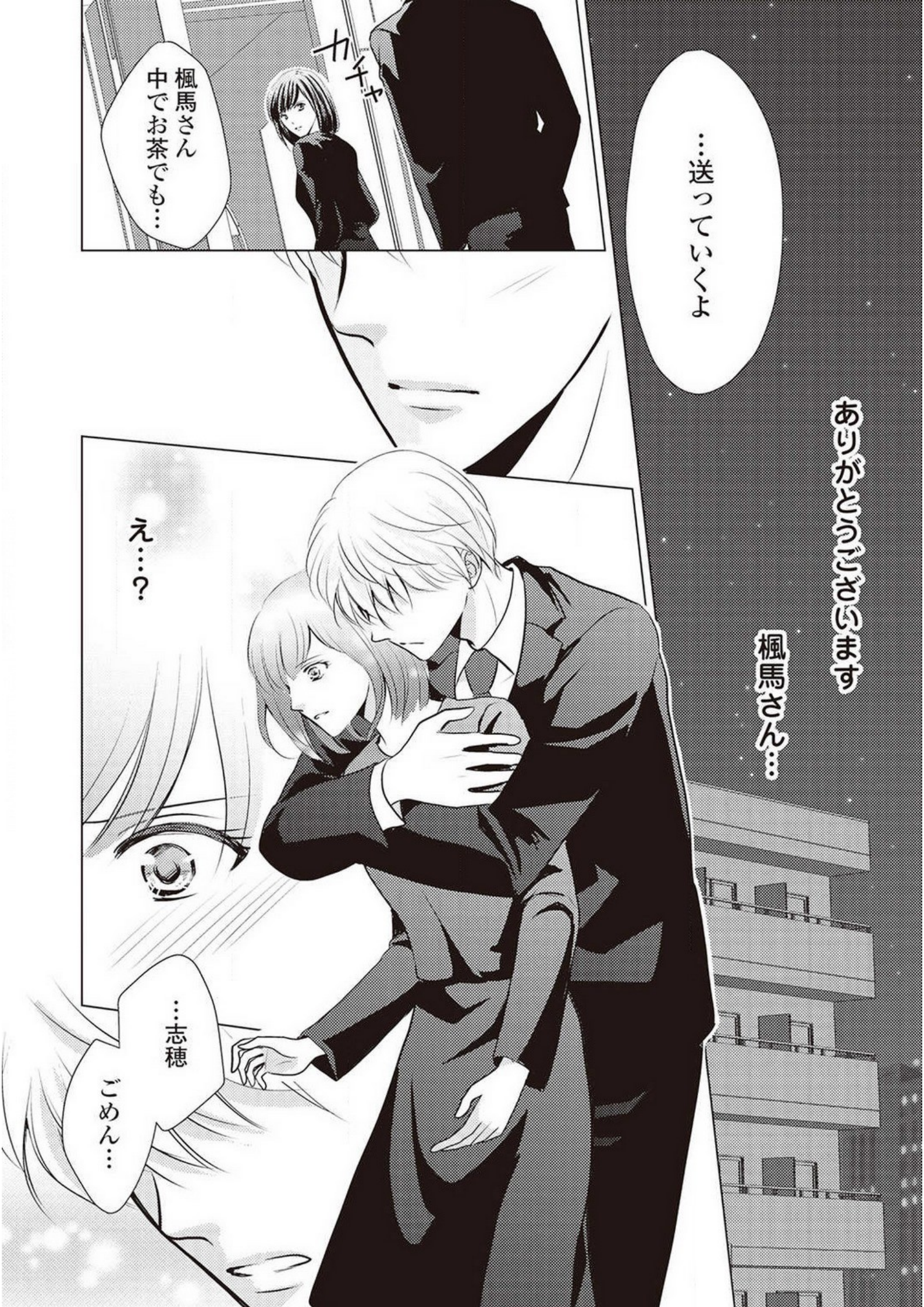
カキヤ

楓馬さん
中でお茶でも…

え…？

…志穂

ごめん…



楓馬さん…？





ごめん…

なんで…?

ハッ



待って





自分が何をしているのか…
わからない…

楓馬さんは
美穂を亡くしたばかりなのに

…志穂

これ以上いたら…



俺は…

君を…

楓馬…さん…

美穂の代わりでもいい…

代わりでもいいから…



今は…
私を一人にしないで…



…行かないで



私が少しでも



志穂

辛いことも
悲しいことも…全部忘れたい…

私も今は…
何も考えたくない





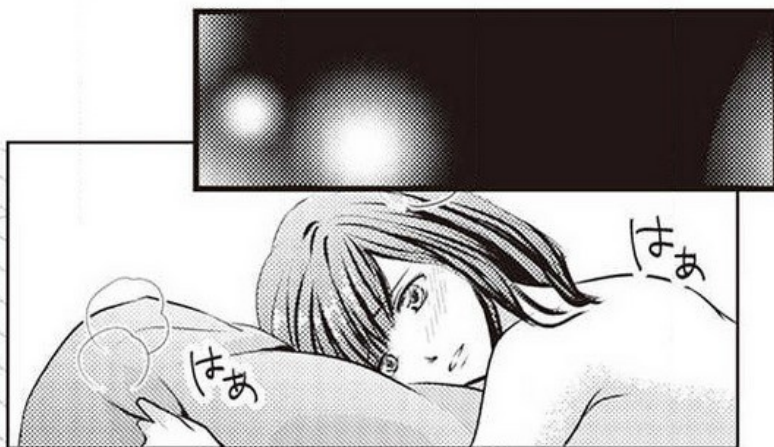
あつ
あつ
ああつ

志穂

志穂…

あつ
あああつ…!!

あ…



私…
なんてことを…っ!!

ごめんなさい…
ごめんなさい…楓馬さん…

うあ…っ

う…っ

美穂





それは
どういう意味…？



どうして…



その答えを見つけれないまま
四十九日を終え

楓馬さんからはたまにメールが届くものの
顔を合わせない日が続いた

ピンポン





オレンジの花や
うさぎが好きなこと
覚えててくれたんだ…



今日は志穂の二十四回目の
誕生日だね。
これからの一年が
志穂にとって実りの多い
一年でありますように。
身体に気をつけて。
楓馬

まだ妹のように思ってくれているの…？

あんなことを
してしまった私を…



カチャ



複雑な気持ちを抱えたまま
数日後私は父に呼び出された



遅い

…ごめんなさい

…ただいま

用件は何だろう
早く帰りたい……



…美穂に代わり

お前が

楓馬くんの
新しい婚約者に決まった



私が…楓馬さんの婚約者に…？

何を…
言っているの…？

#3



そもそも…
そんな話

楓馬さんが…
三柳家が受け入れるわけが…

いや
楓馬くんはすでに
了承してくれている

え…



あちらの両親には
反対されたそうだが

楓馬くんが
説得してくれたようだ

同じ顔の
お前が欲しいなんて

彼はよほど
美穂に未練があるんだな



同じなんて！
美穂とは全然
違いますよ！

美穂と同じ顔だから
私を…？

いいこと志穂
こうなったからには
私達に恥をかかせないように
気をつけてちょうだい

そのみっともない恰好も
改めなさいね

美穂のように
上品に振舞うんだぞ





三柳家との
繋がりがなくなったら
会社の経営が悪化しかねない

くれぐれも彼の機嫌を
損ねるな

そうか…

あの夜楓馬さんが抱いてくれたのは
私が美穂と同じ顔だったから…

楓馬さんは
私に…

美穂の代わりに
なることを求めてるんだ…



それから二日後
楓馬さんに会うことになった

これも

全部美穂が
使っていたもの

これも…

身に着けるものだけで
こんなに変わるんだ…



楓馬さん…

志穂が
付き合ってくれて
嬉しかった

君が生きていて
くれて俺は嬉しい

あんなに優しい
楓馬さんなら…

美穂の真似しなくても
志穂は志穂のまま
いいんだよ

…はい

そんな風に言ってくれる
かもしれない…

久しぶりだね
志穂

楓馬さん
少し痩せたかな…





楓馬さんは

やっぱり
私に「美穂」を
見ている…

どうして一瞬でも
自分を求めてもらえると
思ったんだろう

俺達の婚約のこと
急な話で驚いているよね？

美穂が亡くなって
間もないのに
不謹慎…だよな

…いえ

私があの日
してしまったことの方が…

志穂は…

そう…美穂から
その俺の気持ちを
聞いたことはある？

楓馬さんの気持ち…

美穂を心から
愛しているということ？

美穂は自分から
愛されているなんて
言うタイプじゃ
なかった…

でもそんなの
口にしないで
わかりきってる

楓馬さんの
美穂への気持ちは
ちゃんと知っています

…はい



うん
俺の気持ちは
変わってないよ

だから
志穂に傍にいて
ほしいんだ

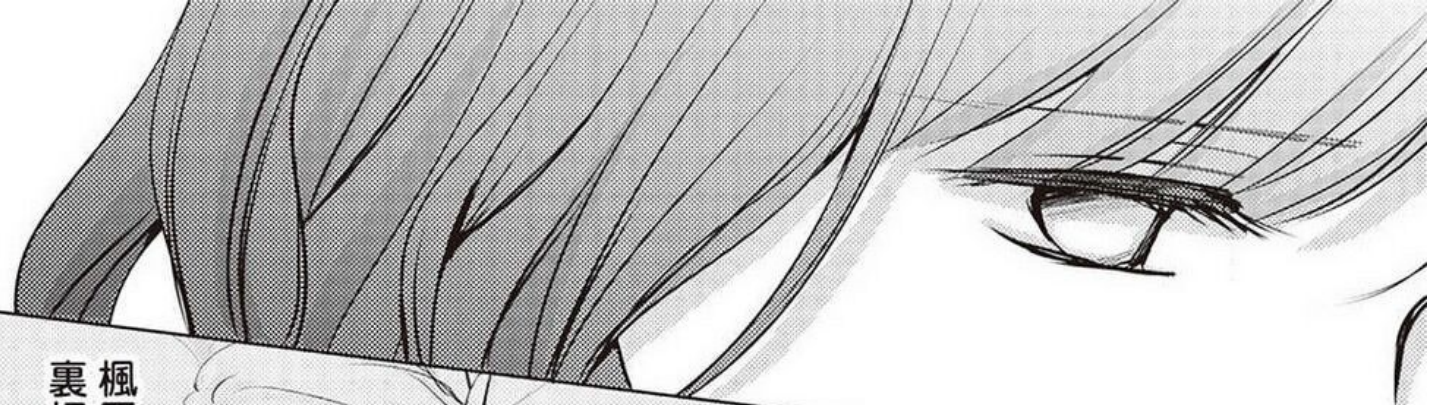
俺の婚約者として



今も美穂を愛している

ズキン

私は身代わりにしか
思われていない



あの日
私が美穂との
約束を断っていたら……



楓馬さんに美穂を
裏切らせてしまったことも……



——…これが私のすべき
贖罪なんだ……

……はい



美穂の身代わりとして…

私は
楓馬さんの傍にいます



身代わりだっていい…

彼の心が自分にないと
わかっていても

私が傍にいたい

志穂 他に
どこか行きたい
ところある？



えっと…

美穂ならきつと

…お買い物が
したいです

こう答えるかな

じゃあ
そうしようか



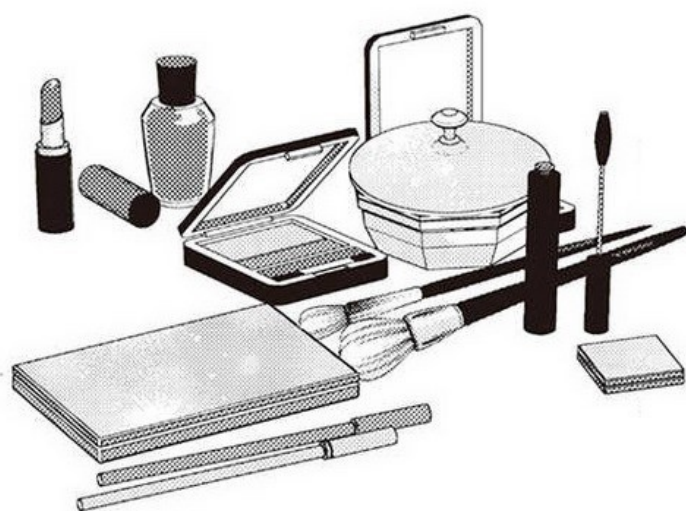
…はい

美穂のように
生きていこう…

楓馬さんが
いつか目を覚まし



身代わりの私ではなく
他の人を選ぶ時まで……



楓馬さんの婚約者になって
一年半——：

おはようございます
楓馬さん

おはよう志穂
さあどうぞ

晴れて
よかったね

はい

4

水族館なんて
高校の時以来かな

私も久しぶりです

いつもは
美穂の好みそうな場所を言うけど

今日は…

ねえ志穂

今度のデートはどこに行きたい？

あの時は眠くて思わず

…水族館に…
行きたいです

えっ…と

「志穂」として答えてしまった

子供っぽいつて
思われたかも…

水族館かあ…

いいね

小学三年生の夏
珍しく家族四人で出かけることになって
その行き先が水族館だった…

でも私は当日
熱を出してしまっ

両親は美穂だけ
連れて三人で行ってしまった

連れて行ってもらえた
美穂を羨んだっけ…

今の水族館は
どんな感じなんだろうね
楽しみだな

はい

あの時行けなかった水族館に
楓馬さんに行く

天国にいる美穂は
昔の私みたいにするって思うのかな…







綺麗…

これはすごいね







どっとうしよう
みっともなかったかな？

志穂のそんな姿
見られてよかった



うさぎの
コラボメニューが
嬉しい

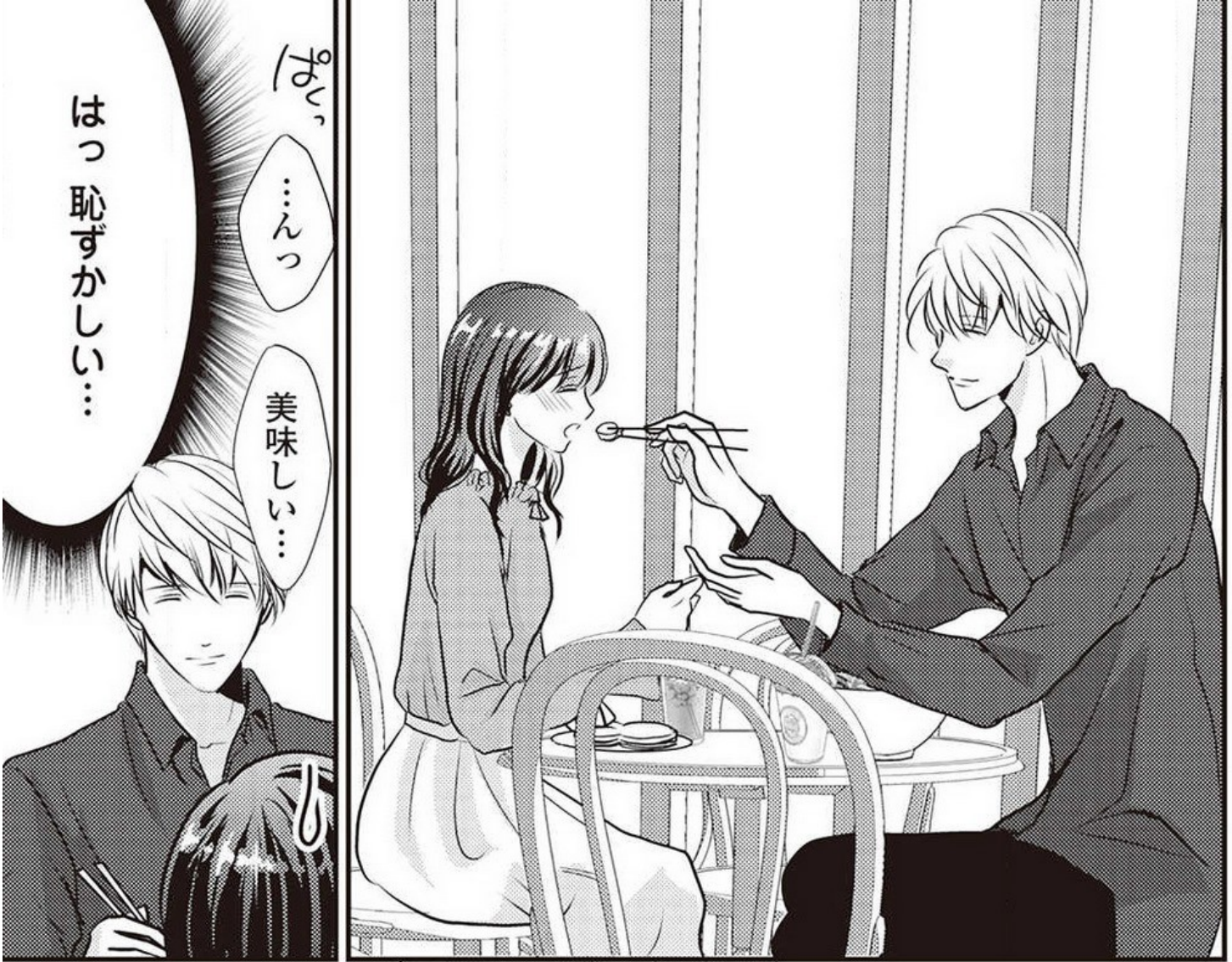
はい 口開けて

あっあの
自分で…

いいから
いいから

志穂も
海鮮丼食べてみる？





はっ 恥ずかしい…

はっ

…んっ

美味しい…



え

あの…
楓馬さんも
サンドイッチ
食べてみますか？

ありがとう
じゃあ一口
もらうね



志穂は
食べさせてくれないんだ

なっ

あはは
ごめんごめん
志穂はホント
可愛いなあ

か、可愛い…

じゃあ一口

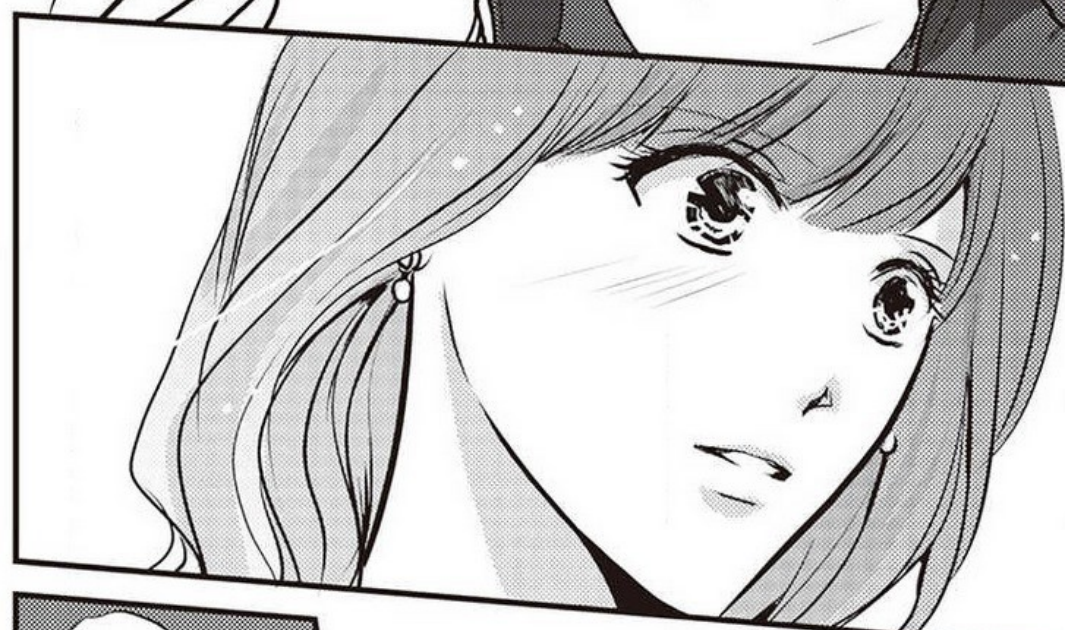


えっ…と



うん 美味しい

ありがとうね
志穂



トクン

いっいえ

楓馬さん…

今日は
楽しかったね

はい
とても

次は動物園にも
行ってみようか？

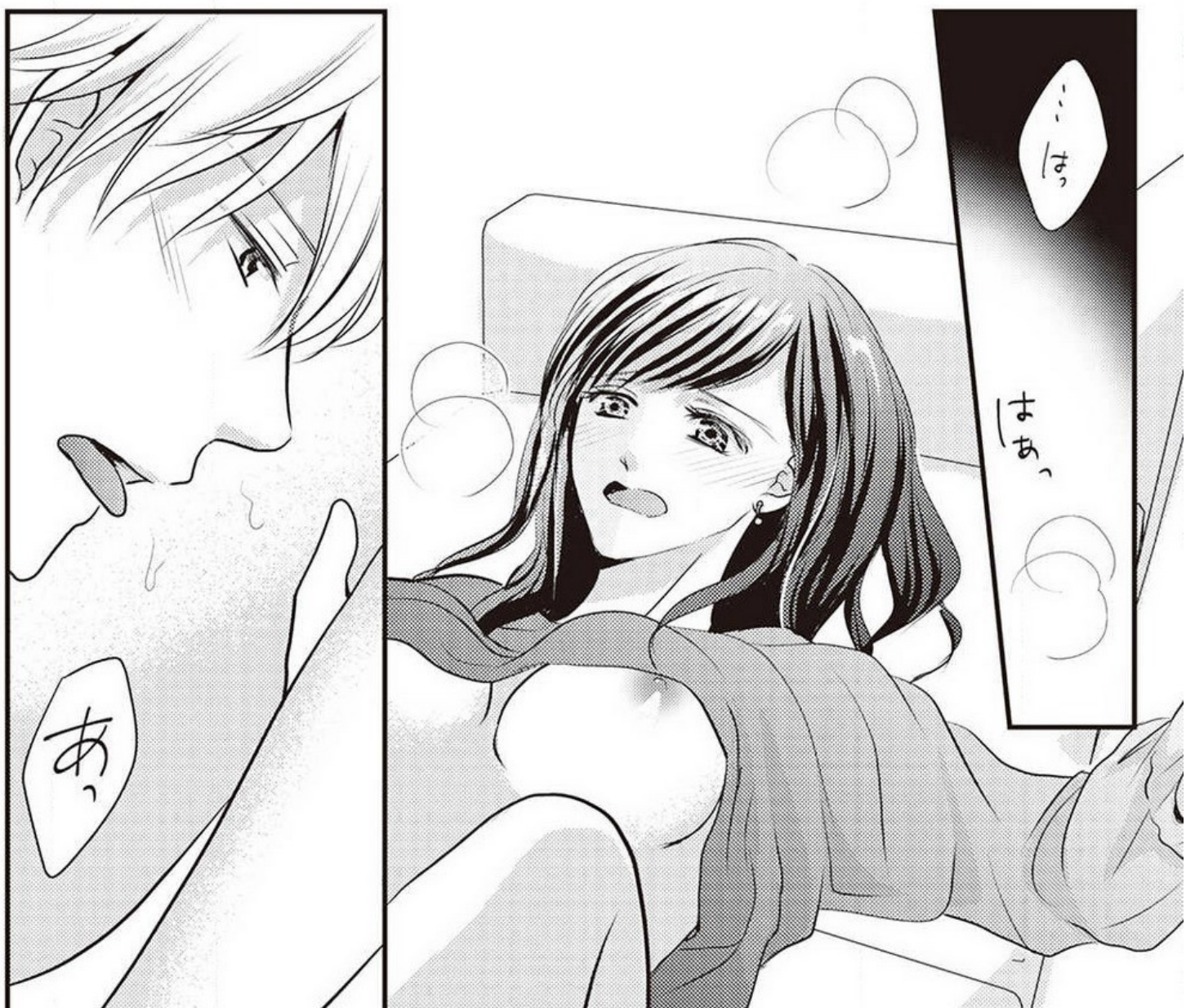
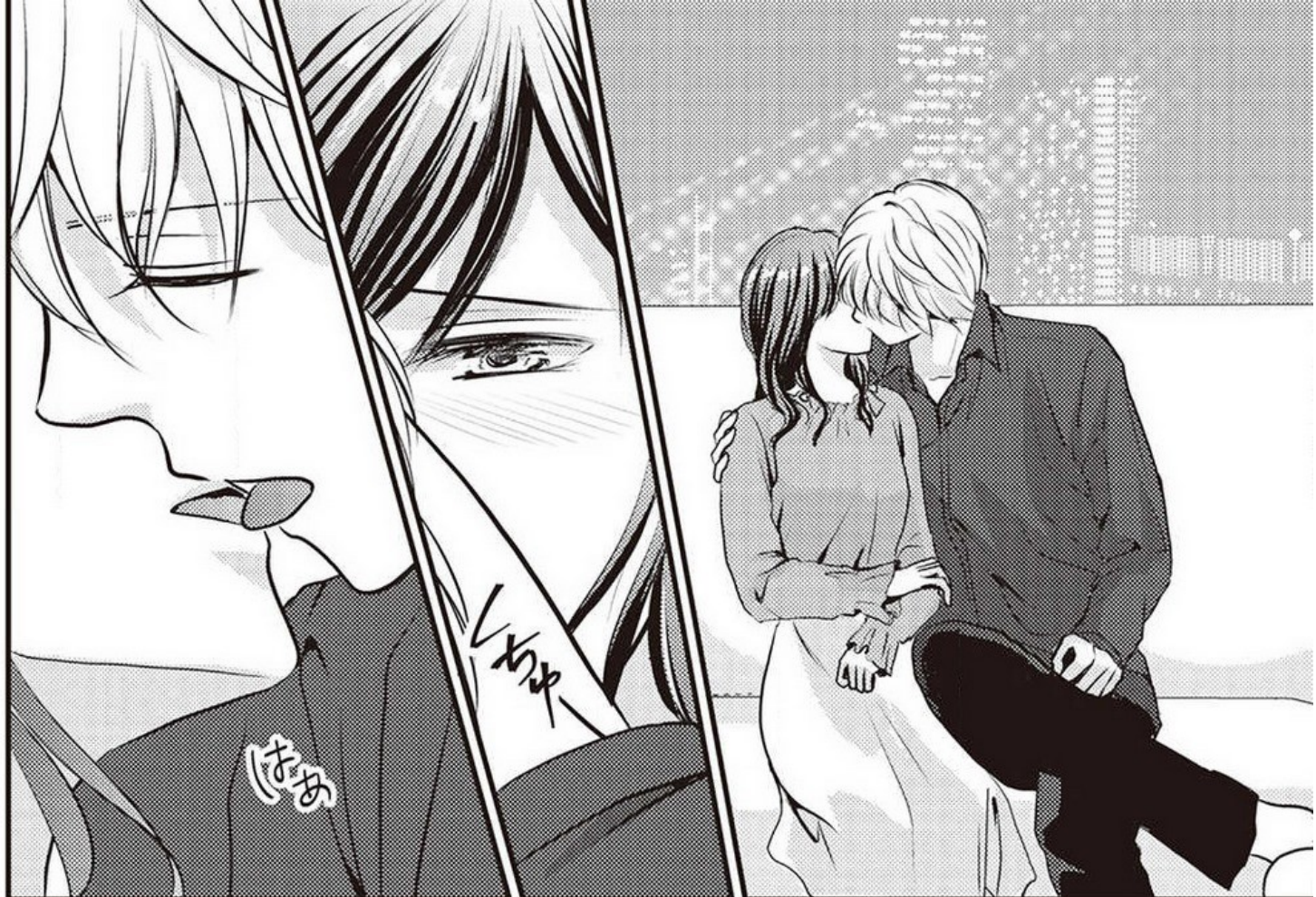
動物園…

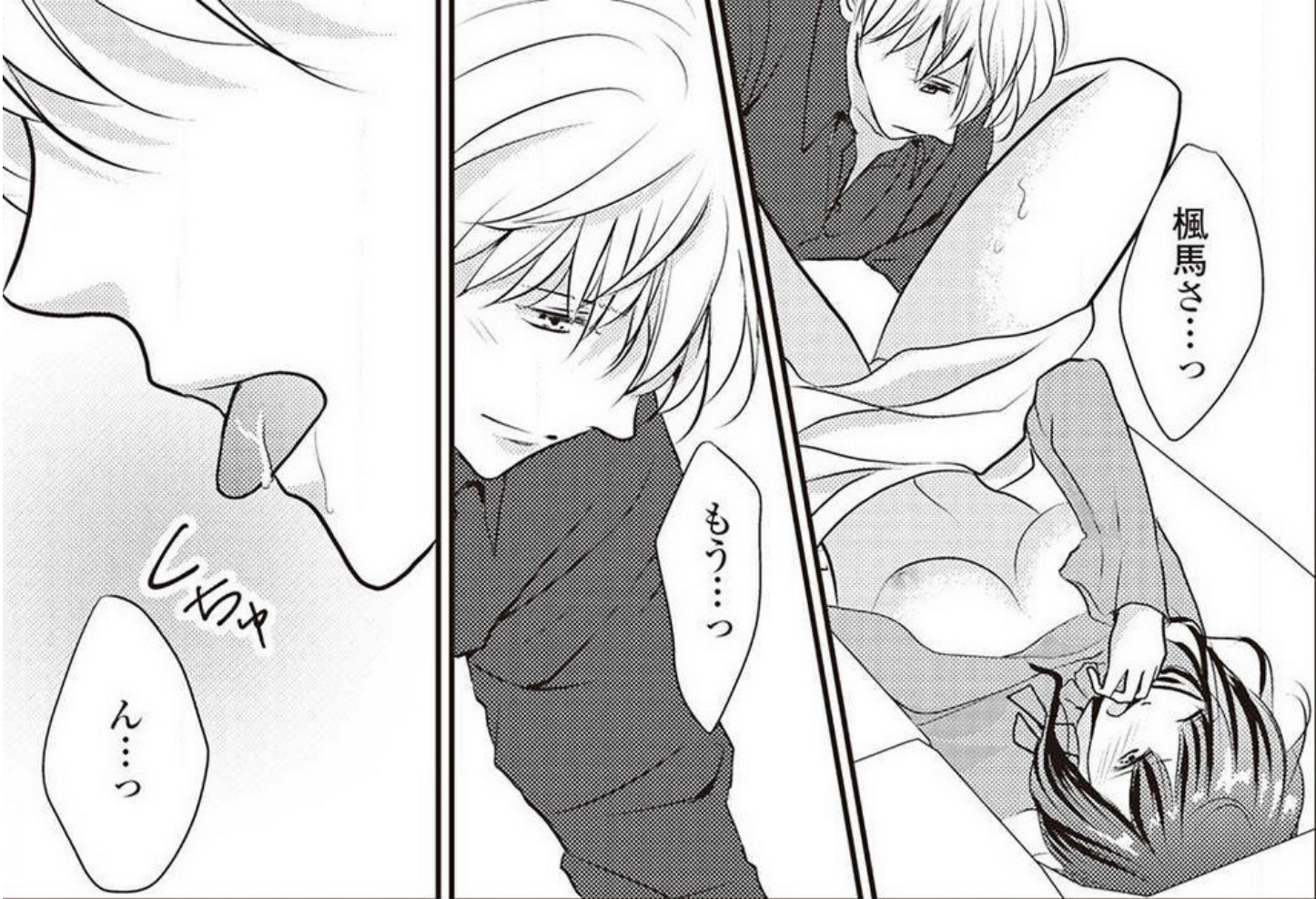
ぜひ行きたいです

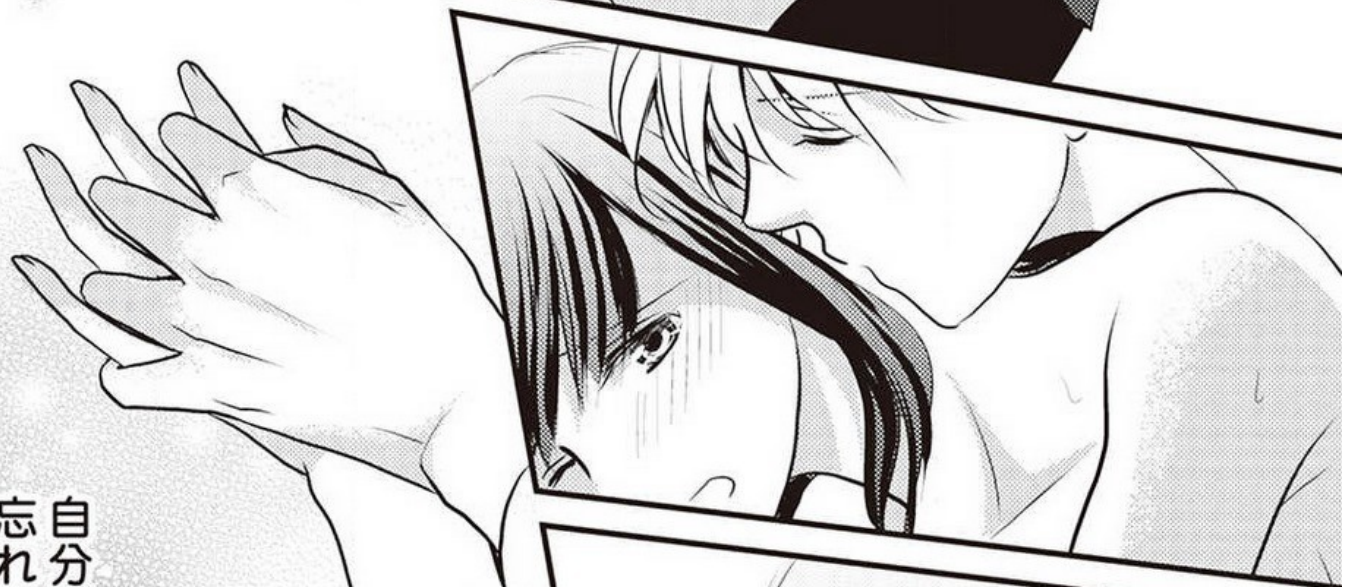
大好きなうさぎはもちろんだけど
パンダやアライグマ
カピバラとかも見たい

今日みたいに

楓馬さんと二人で…







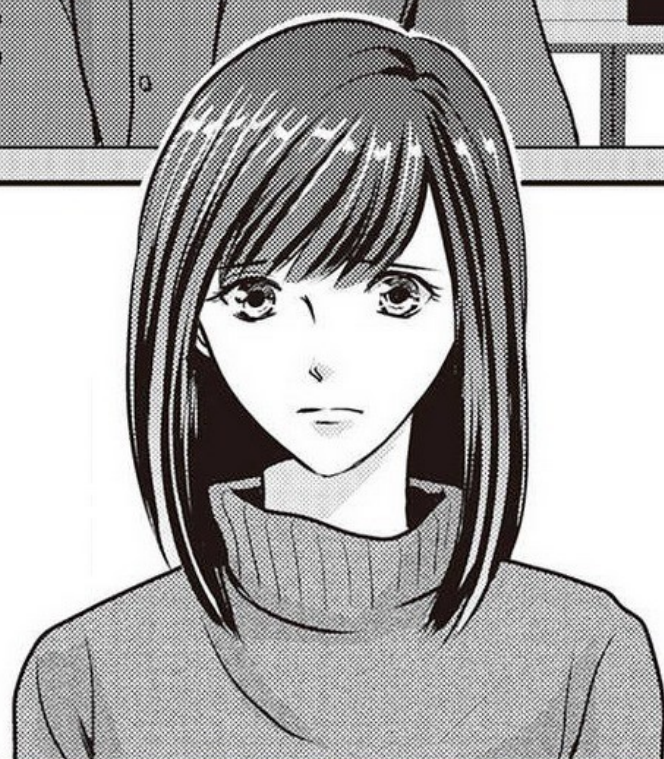
楓馬さんが好き…

やっぱり私…

自分が身代わりだってことを
忘れてしまいそうなくらいに…

でもそれから数日後
現実を突きつけられる…

お前
楓馬くんとはいったい
どうなっているんだ



…変わり
ありません

変わらないとは
どういうことだ
もう一年以上経つの
に結婚の話は出ていないのか!?

…



もう一年以上って…
まだ美穂を亡くして
二年も経っていないのに…

こちらから三柳の家に
それとなく結納や式の話
向けても反応が悪い

楓馬くんは本当に
お前と結婚する気が
あるのか？

それは…

彼が本当は
どう思っているのか
わからないけど…

私達には
結婚はまだ
早いのではないか
と…

でも…

そんな悠長なことを
言っている場合じゃないんだ！

お前が楓馬くんと
結婚さえすれば
三柳建設が後ろ盾になるんだ

そうすれば
融資を渋っている銀行も
金を貸すはずだ

会社の経営が上手くいって
ないから焦っているのか

そうだ！
楓馬くん
しばらくうちの会社に出向して
もらって問題のある部署を
立て直してもらうのも
いいかもしれないな

実績もあるしな

！
お父さん
それは…

楓馬さんや三柳家を
一方的に利用する気での!?

まして楓馬さんを
父の会社で働かせるなんて



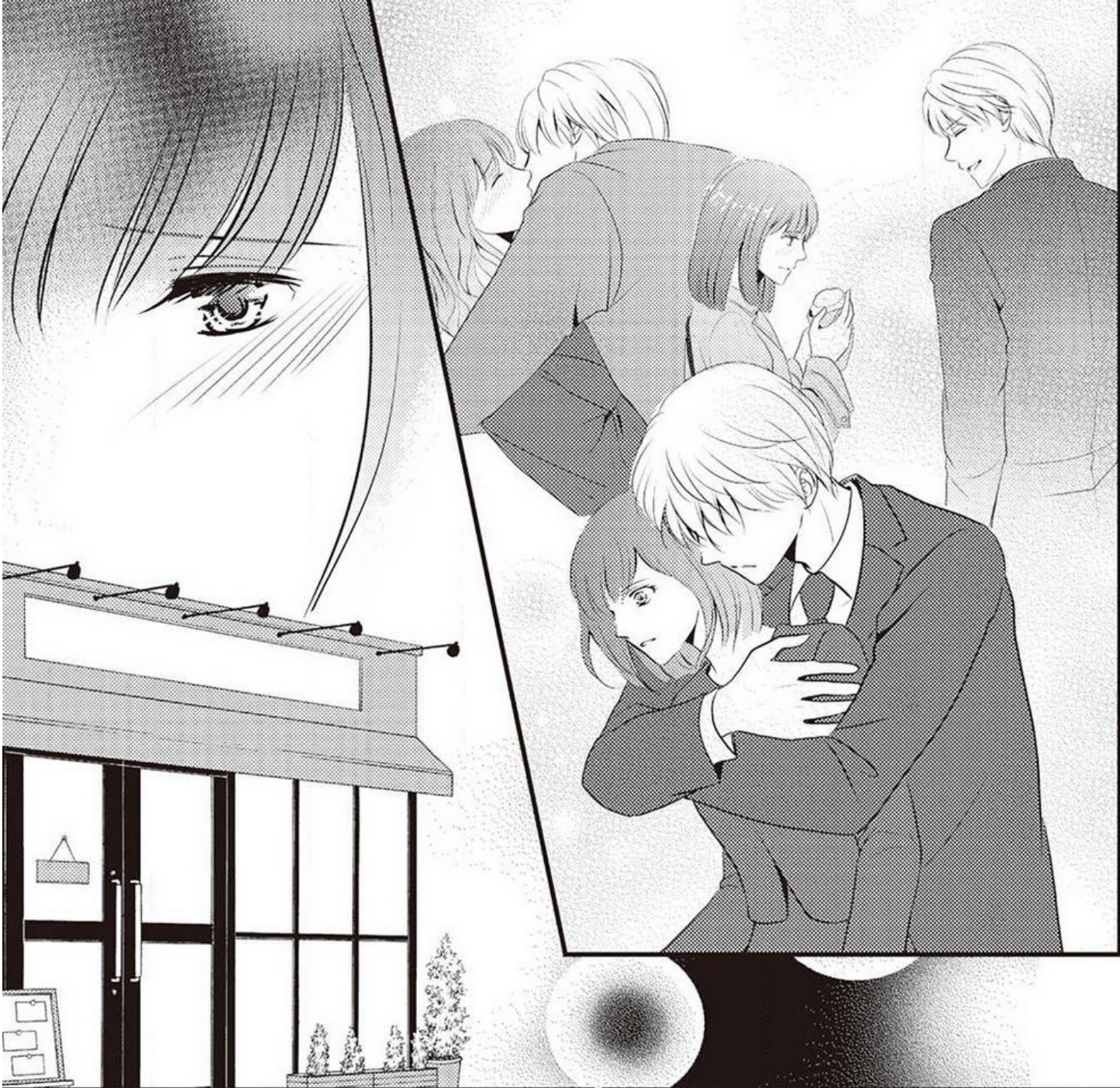
父がここまで
愚かだとは思わなかった

もう潮時かも…

でも…

志穂

私から
婚約破棄を申し出た方が
いいのかもしれない



いざその時が来ると...

いつか彼とは離れるって
覚悟していたはずなのに...

昨日は眠れなかった...

寂しくて…
手放したくないなんて…

どうしたの
美味しくない？

あ、
いえ
とっても美味しいです

そう？
ならよかった

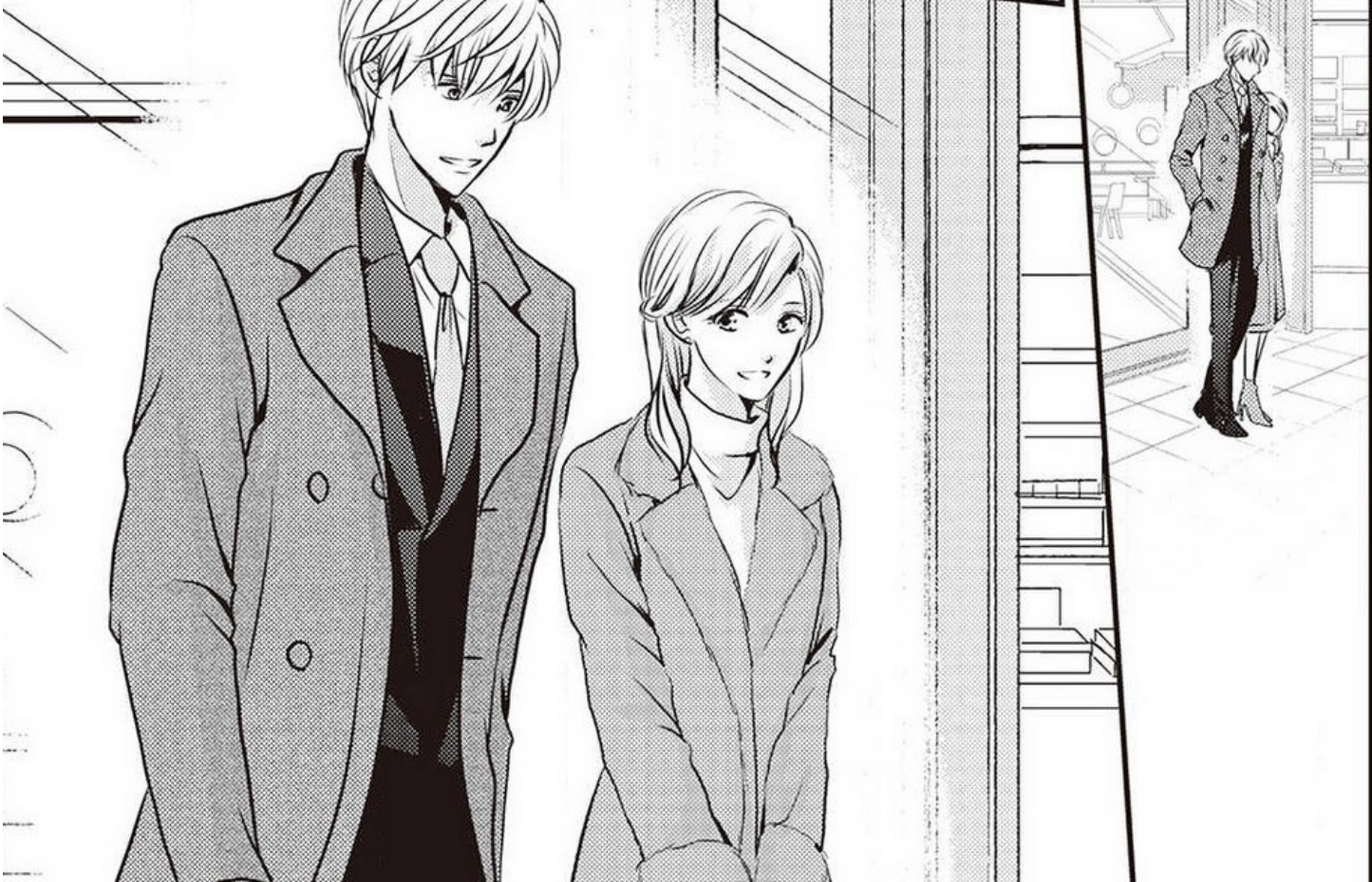
せっかくランチに
誘ってもらったのに…

桜井さん
この前の食事会
来れなかったから
今日は嬉しいな

たまにはランチもいいよね

私も嬉しいです

鈴木さん
いつも明るくて気持ちがいいな



あれは…

楓馬さん…??



あの女性は
誰だったんだろう…

友人や仕事関係の人
かもしれない…

でも…

そんなことを考えていたら
体調を崩してしまった

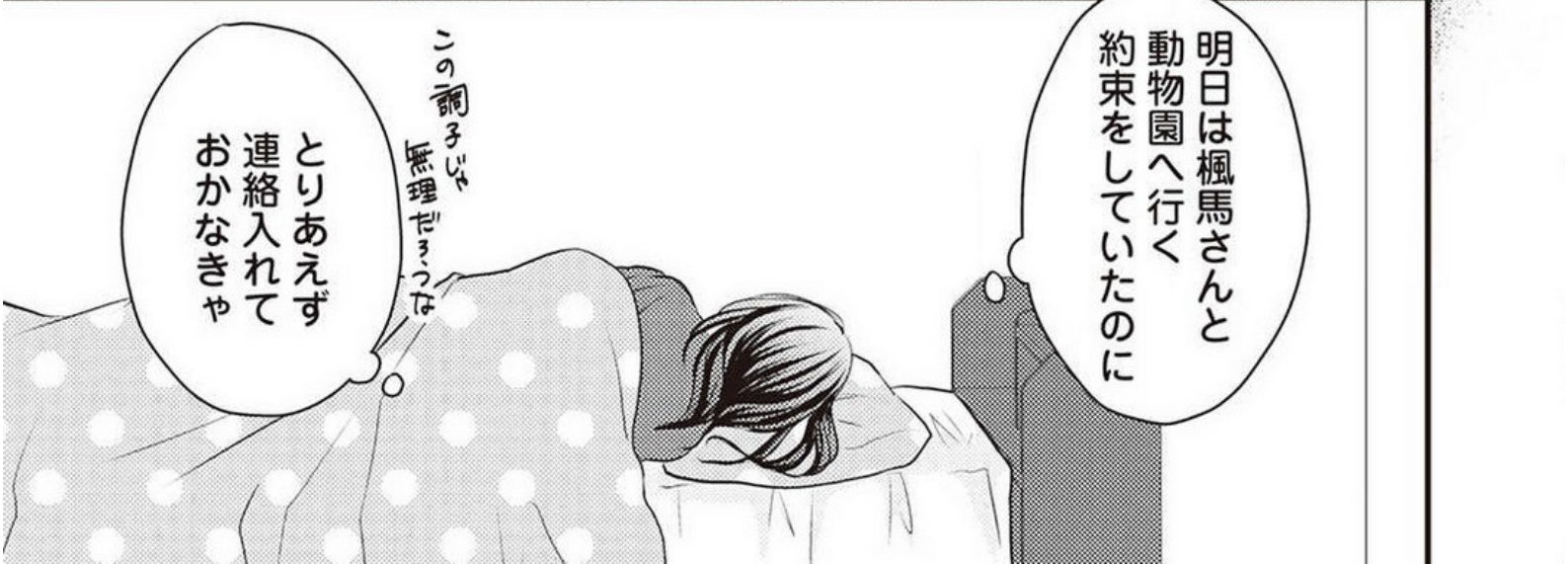
#5



明日は楓馬さんと
動物園へ行く
約束をしていたのに

この調子じゃ
無理だってな

とりあえず
連絡入れて
おかなきゃ





大丈夫？
病院には行ったの？

大丈夫です。ただの風邪
だと思うので、病院に行
くほどではありません。
約束を守れなくて本当
ごめんなさい。

お母さん…

お父さん…

…美穂

これは…水族館に行く日
置いていかれた時の…

ひと眠りしてから
薬買いに行こう

体調の悪い時は
決まって嫌な夢を見る



私は…
誰にも頼れない…

家政婦さんにまかせっきりで

どうしてお母さんは
私の傍にいてくれないの？



だから
一人で耐えるしかないんだ…

美穂が風邪を引くと
お母さんはつきっきりで
看病をしているのに…







おうどんが食べたい…です

具なしの素うどん
くたくたに柔らかく
煮たやつ

風邪の時
家政婦さんが作ってくれた…

わかった
ちよっと待ってて



カチャ
カチャ

カタン

ト
ト
ト
ト
...

人の気配って
こんなに安心するんだ…

作ってくれたうどんは
懐かしい味がした



彼の温もりに安心して眠った私は
もう嫌な夢は見なかった

ありがとうございます
すっかりお世話に
なっちゃって

どういたしまして

俺も役得だったよ

志穂が甘えてくれて
可愛い姿をたくさん
見れたし

うっ
ごめんなさい

謝らないで
俺は志穂にわがまま言われたり
甘えられたりしたいんだ

だから遠慮せず
どんどん頼ってくれて
いいんだよ

楓馬さん…

それは…
美穂がそんな風に
振舞っていたから…？

私はどうしても
上手く甘えることができない



そういえば
あの人は少し
美穂に似ていたな…



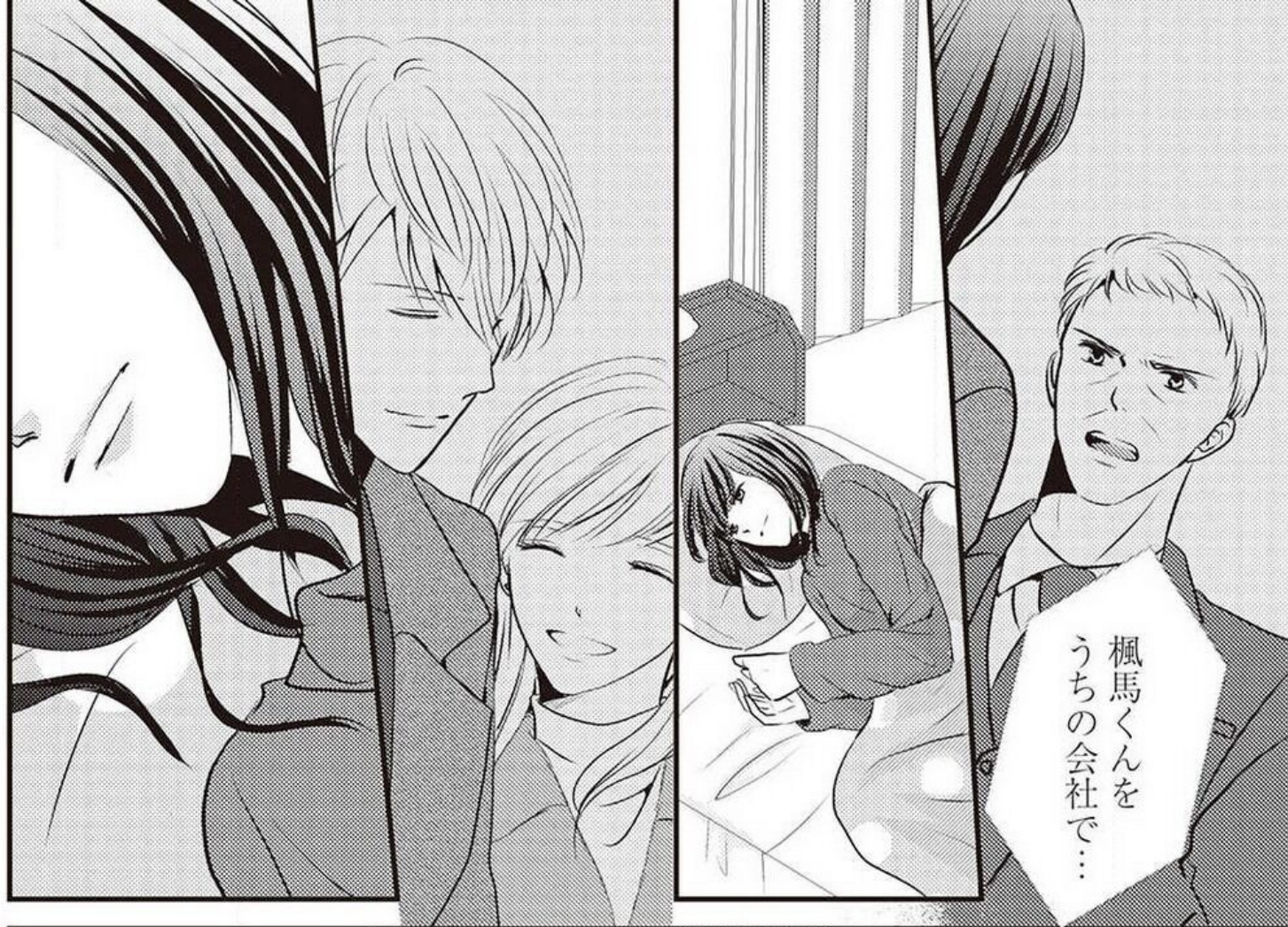
あの人は誰…？

聞きたいけど
聞くことができない



聞いたら
私達の関係が変わってしまう

そんな予感がして…



志穂





父がわざわざ平日に
来るわけないし

見栄っ張りの母が花を
二輪だけ持ってくることもない

桔梗の
花言葉って…

桔梗(キキョウ)の花
「永遠の愛」「誠実」

もしかして…



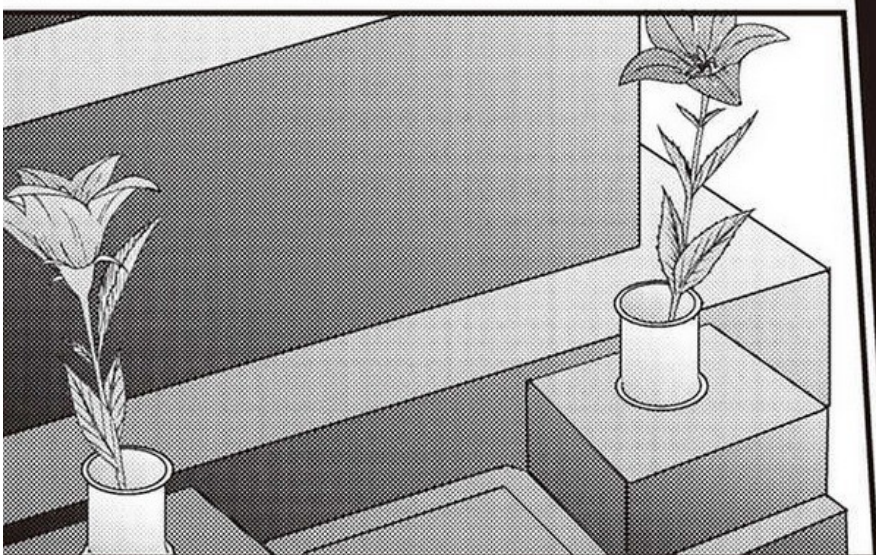
やっぱり…

楓馬さんが…

花言葉に想いを託すなんて…

かな
敵わないなあ…

今でも
楓馬さんの心は美穂にあるんだ



美穂…

今の私をどう思う？

恋人を奪った私を
憎んでる？

志穂として
愛されたいと
もがく私を
みつともないと
晒^{さら}う？

私は楓馬さんの心を奪ったまま
いなくなってしまった美穂が…

今でも彼に愛されている美穂が
羨ましくて妬ましい

桜井



一番憎いのは
姉への嫉妬心と楓馬さんへの
執着を捨てきれない自分自身…



ごめんなさい…

私は間違えたんだ

通夜の日彼に
すがってはいけなかった



美穂と楓馬さんへの罪悪感に
押し潰されて心が軋む



もういい加減
こんな不毛な関係は
終わりにしよう

そう決心したのも束の間

今度は母に呼び出された

あなた
楓馬くんとは上手く
やっているんでしょうね？

関係を終わりに
しようとしている
ことは
この人に言わない
方がいい

…はい

交際は順調
です

うそおっしやい

うそでは…

ならどうして
楓馬くんが他の女と
見合いなんてするのよ

え…？
お見合い…？

そんな話
聞いてない…

知り合いの奥様から
教えていただいたの

相手は銀行家の
お嬢様ですって

才色兼備で素敵なお方らしいわ
あちらのご両親も楓馬さんも
大層気に入った様子で
正式な婚約は秒読みじゃ
ないかって

彼の心は今も美穂に
あると思っただけ…

おかしいと思ったのよね
婚約から一年以上経つのに
あちらからは結婚の話が
出ないし

あっ…
もしかして…

でも仕方ないわ
やっぱり志穂じゃ
美穂の代わりは
務まらなかったのよ

だから私は最初から反対したのよ
結局他の家に楓馬くんをとられて
恥をかくことになるんじゃない

でもこれでよかったのよ
あんたなんか婚約者を
とられるなんて死んだ
美穂がかわいそうなもの

お母さん…
私のことは…？

美穂と同じ
あなたの娘なのに…

もう潮時よ
楓馬くんを美穂に
返してあげなさい

まっあんたの次の相手は
私がいちばんと見つけて
あげたから安心しなさい

…え…？

三柳家には劣るけど
とても裕福な方よ





このところお父さんの会社が
上手くいっていないの
私もちょっとね
お父さんに内緒でお買い物
しすぎちゃって困っているのよ

でもこの方が
志穂の写真を見て
気に入ってくださってね

あなたと結婚できるなら
援助してくださるって
どう？
良いお話でしょう？

お金のために
私に身を売れと…

この人は
私のことを都合の良い駒としか
思っていない

お母さんにとって
可愛い娘は美穂だけなの？

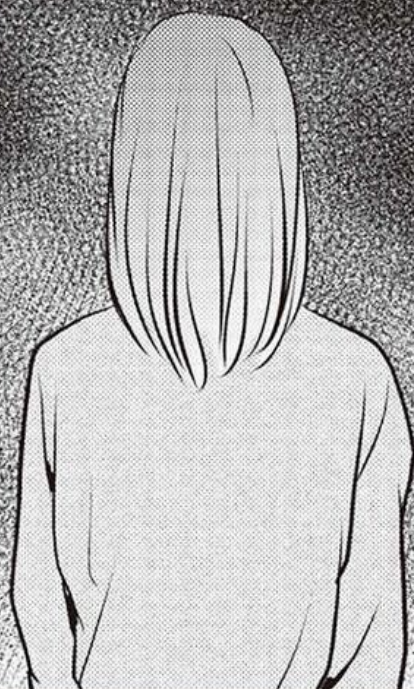
…ねえ…
お母さん

はあ？

今更なに？
当然でしょ

心のどこかでいつか自分も
美穂みたいに愛してもらえる日が
来ると信じていた…

でももう…



…それなら

私みたいな娘は
もういないよね





私も
さいな
私を苛むばかりの
親はもういない

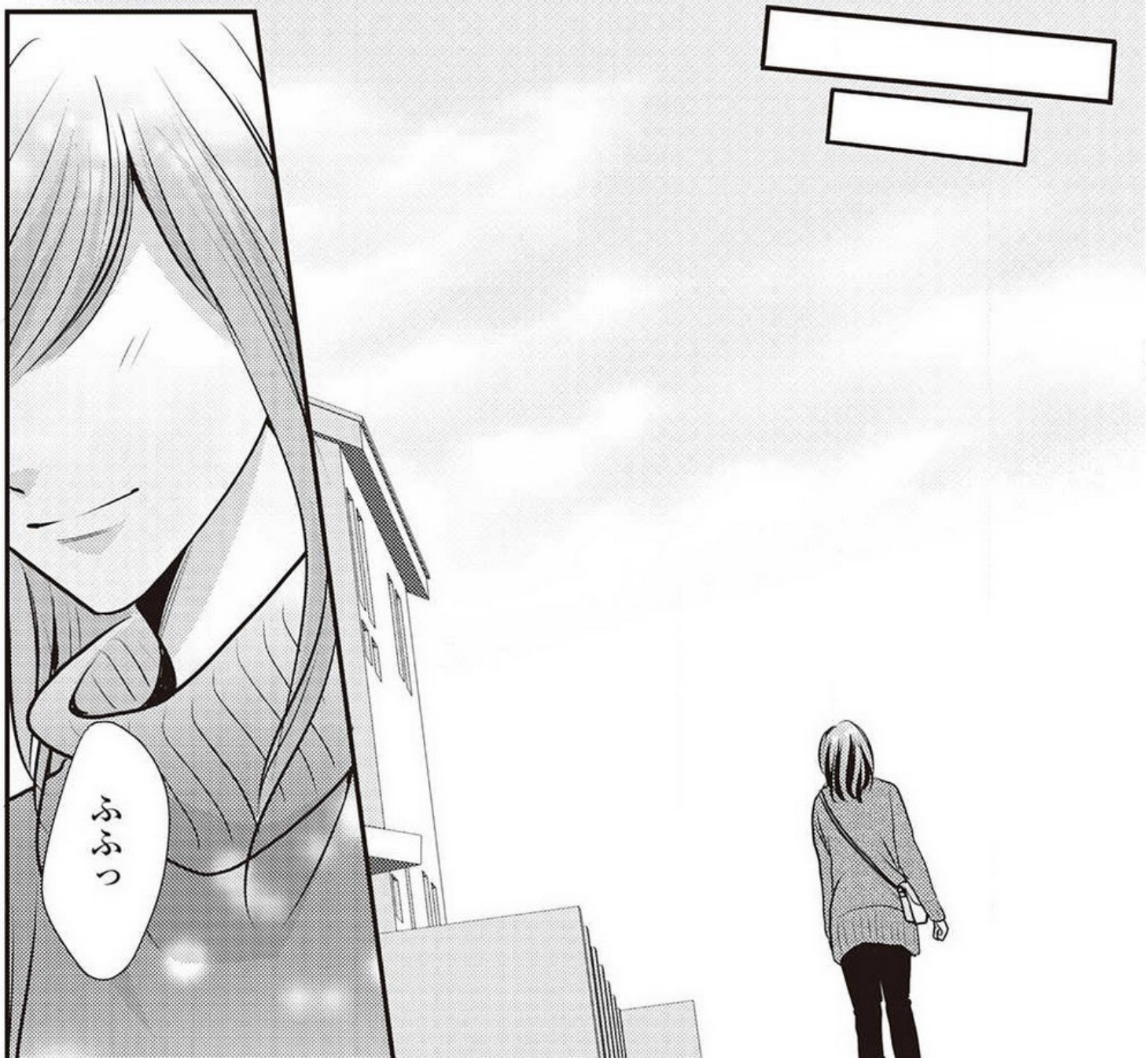


あんた
急に何言って…

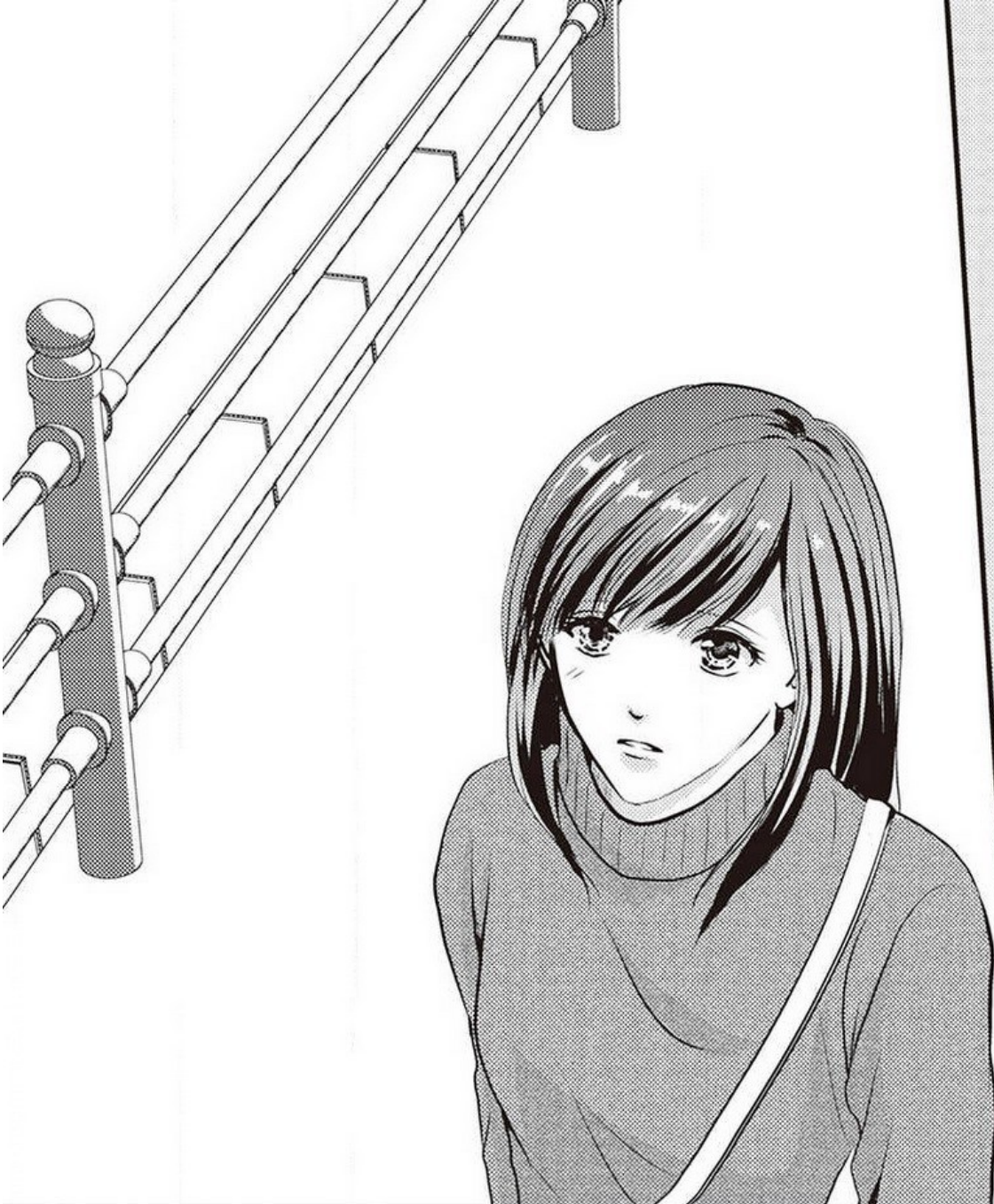
この家と
縁を切ります

今後私は
あなた達のことを
親だと思いません

相続も放棄します
返せと言うなら私にかかった
養育費もお返しします



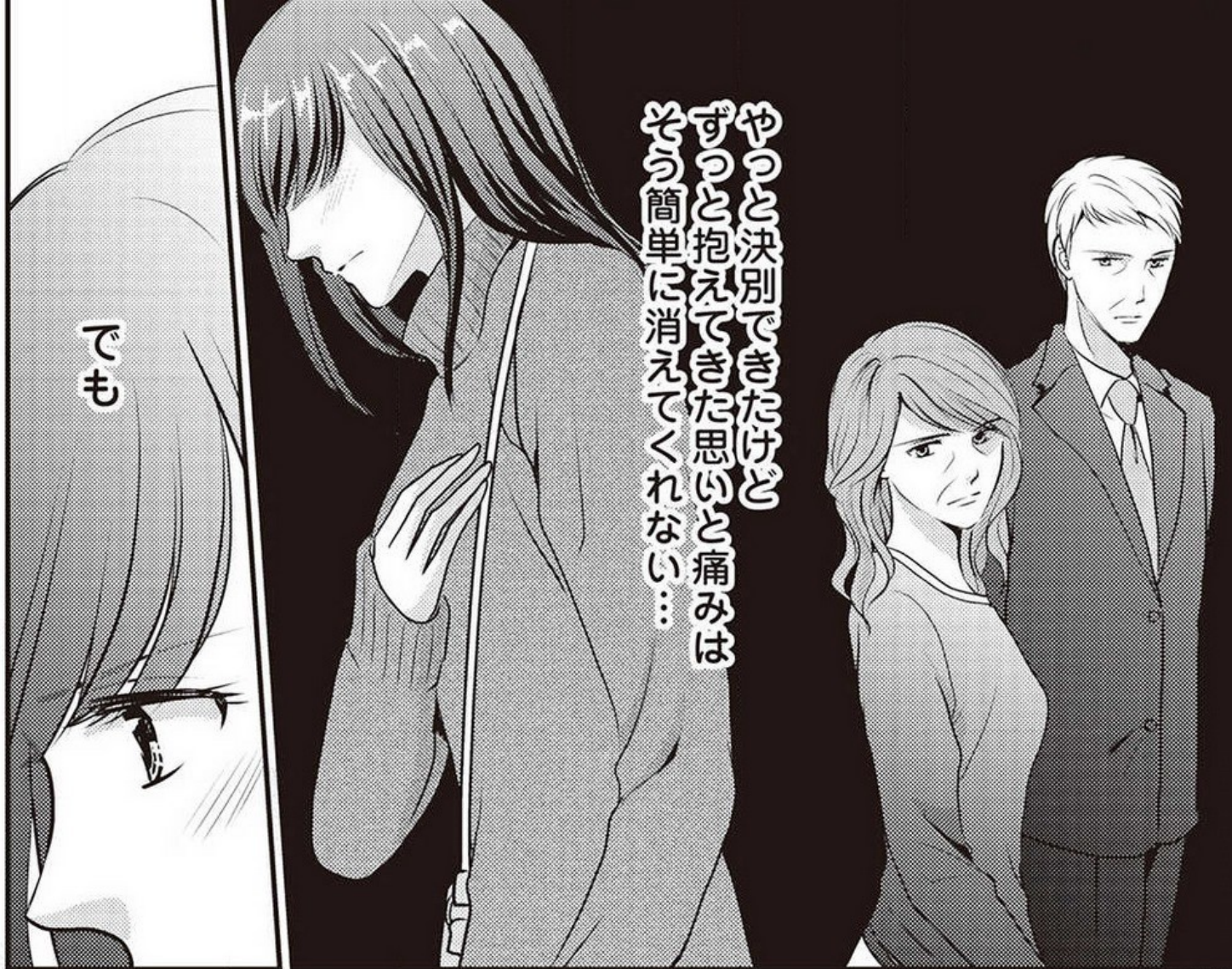
私はずっとあんなものに
執着していたんだ…
馬鹿みたいだなあ



がんじがらめの鎖から
解き放たれたような気がする…



あんな親でも一度でいいから
愛されたかったな…



やっと決別できたけど
ずっと抱えてきた思いと痛みは
そう簡単に消えてくれない…

でも

前に進みたい…



美穂の身代わりも
終わりにする

だから…
最後まで
私からさよならしたって
いいよね？

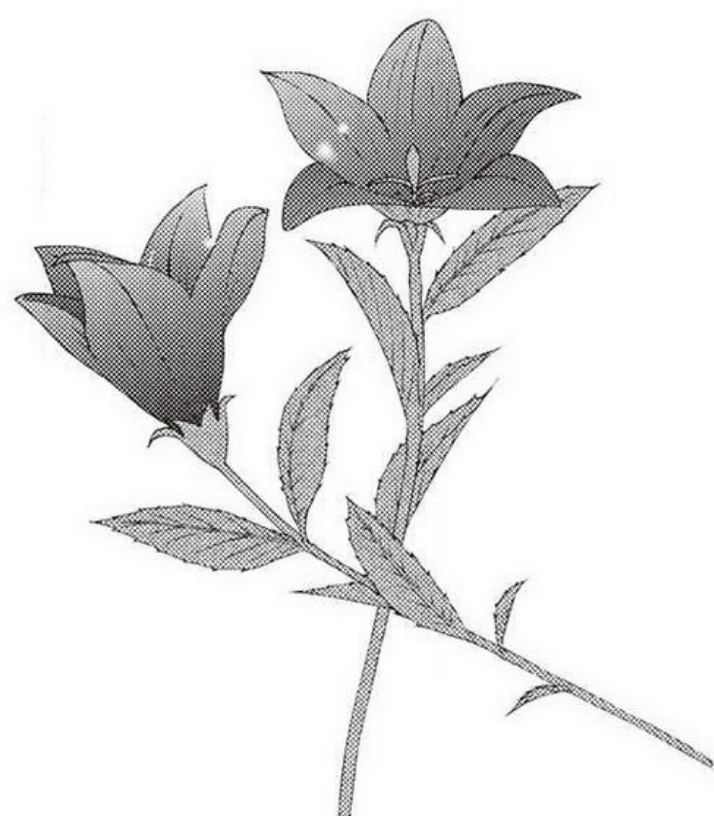


これまでのことちゃんと謝って
今までのお礼も言っで…

それから…

最後に「志穂」として
想いを伝えても…

いいかな…？





カキヤ

いらっしやい

こんばんは
突然すみません

ううん
来てくれて嬉しいよ
こっちこそ最近時間が
とれなくてごめんね

さあどうぞ

今日はいつもと
雰囲気が違うね

…はい

こっちの姿が
本当の私なんです…

座って待ってて

あつ
おかまいなく

楓馬さんらしい
お洒落な部屋！

こんな風に生活しているんだ…

はいどうぞ

コトッ

あっ ありがとうございます
ございます

お仕事…
忙しいみたいです

うんまあ
年末はどうしてもね…

あっ そうだ
ちよつと待ってて

プレゼントを
用意しておいたんだ

一日遅れだけど
メリークリスマス



喜んでもらえると
いいんだけど

…ごめんなさい

これを受け取る資格…

私にはない…



私…

受け取れません





今まで…たくさん
たくさん迷惑かけて
本当に
すみませんでした

私なんかじゃ…
美穂にはとうてい
及ばなかったのに

とても優しく
してくださって…
ありがとうございました

…志穂？
何を言って…？

…でも…
もう十分です



…っ
私との婚約を
解消してください



この関係を終わらせる…
そう覚悟を決めたじゃない…



…っそれじゃあ
失礼しますね



…だめ
泣くな

カチャ



待って

志穂！
待って！

追いかけないで…
放っておいて…

ようやく断ち切った
未練を
呼び起こさないで！





どうして
逃げるの？

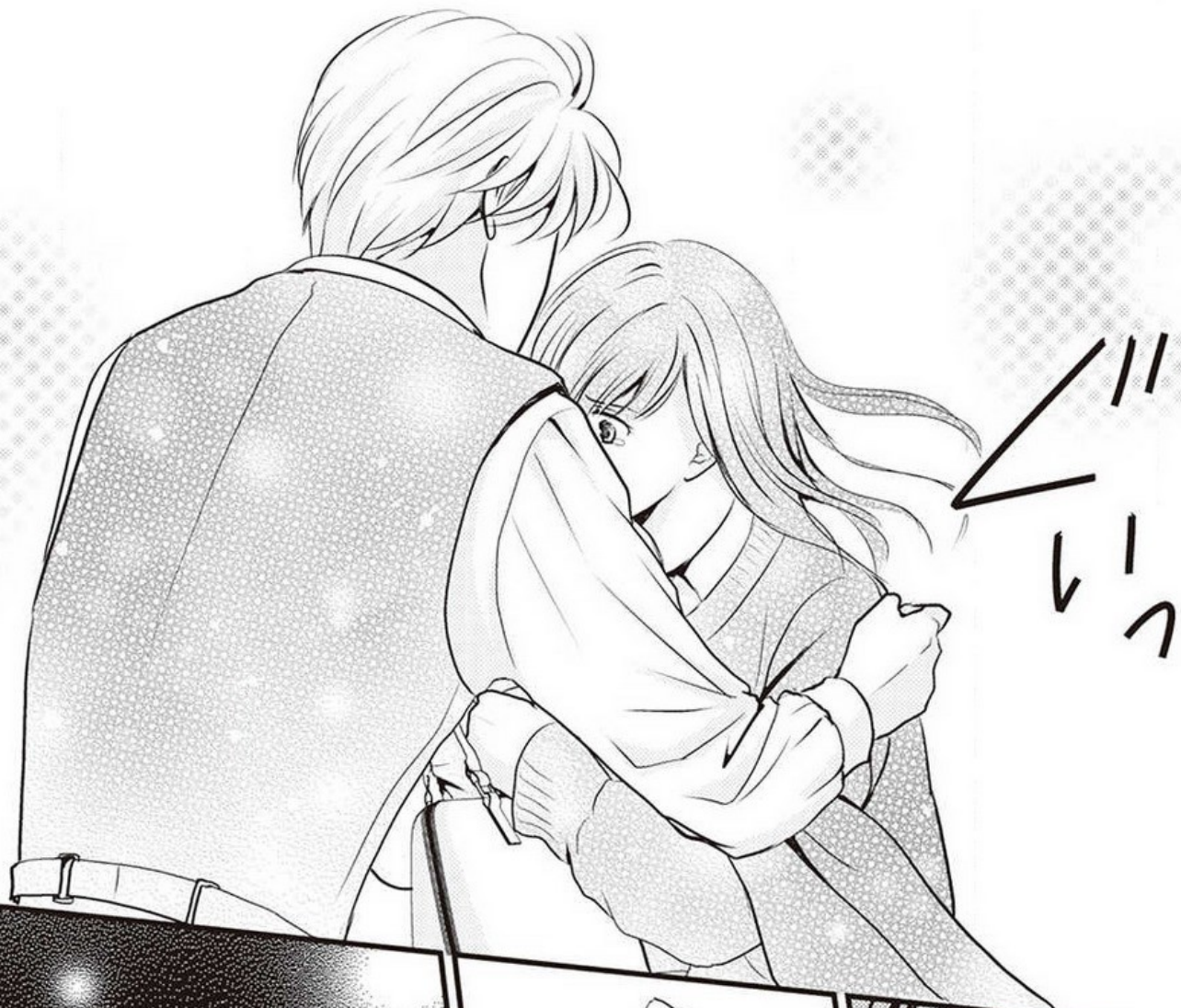
志穂！

じゃあ
どうして！

ちが…っ

他に好きな男でも
できたの？

どうしても直接会って
したい話が婚約破棄？



上手くいっている
思っていたのは
俺だけだった…？

だって…私はもう…
楓馬さんに必要ないでしょう？

志穂？

とろとろ

楓馬さんに新しい
縁談の話があるって…

正式な婚約も
秒読みだろう
って…

やっとこの恋を手放す
決意ができたのに…

俺は志穂以外の女性と
婚約する気も
結婚する気もない

…じゃあ
あの人は…っ？

…ちゃんと説明する

一度部屋に戻って
落ちついて話そう

志穂の言う通り
縁談の話はあったよ

婚約者がいると知っていても
三柳家と縁を結びたいという家は
なくならなくてね…

普段は相手にしないけど…
今回は美穂の友達で
美穂の思い出話をしたんだ

志穂が見た女性
はその人だと思う

もちろん
ちゃんと断ったよ



…志穂には話しておくべきだったね
嫌な思いをさせて
本当にごめん

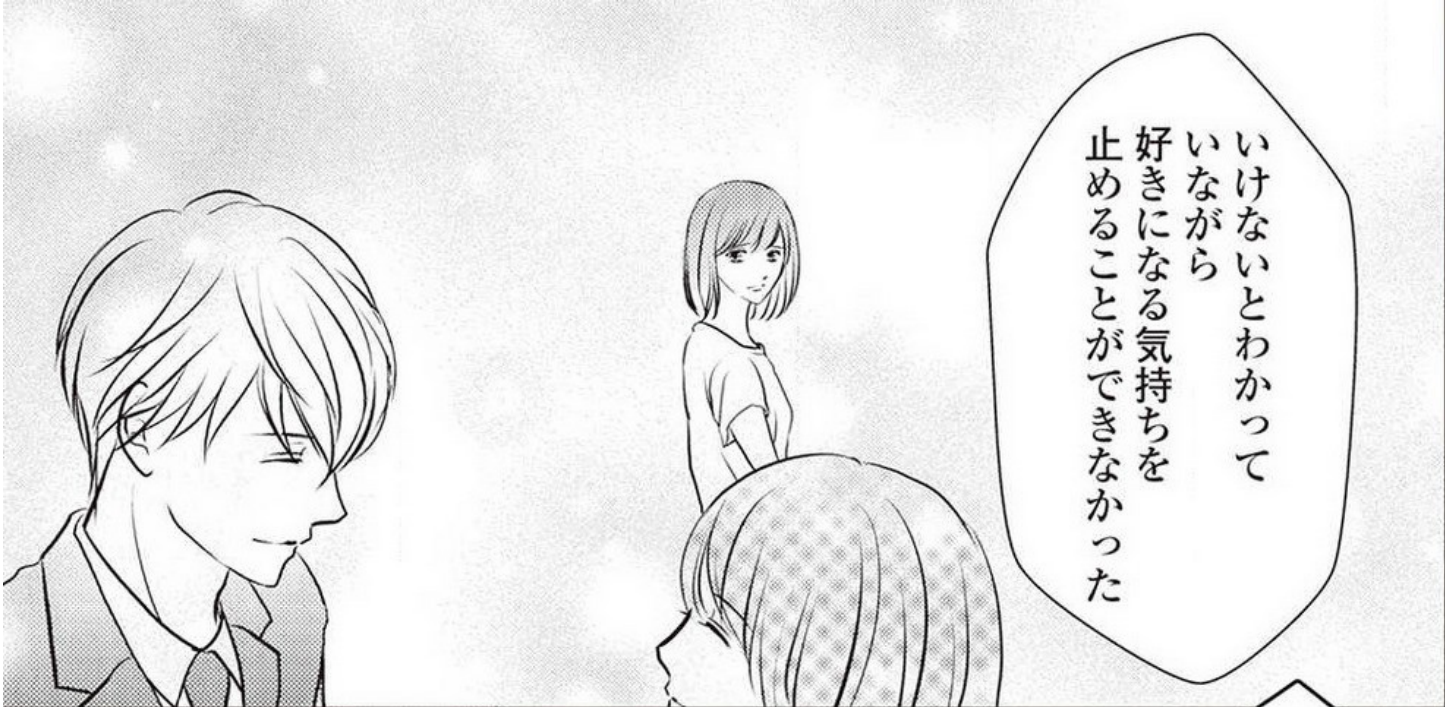


…志穂



…私
楓馬さんのことが
好きなんです

初めて会った時から
あなたに惹かれていました



いけないとわかって
いながら
好きになる気持ちを
止めることができなかった



あの日美穂に大事な話があるって
…二人の結婚の話だと思っていたのに…
美穂は事故に遭って…

通夜の日…

あなたに美穂を裏切らせてしまった

志穂 あれは…

あんな風にすがってはいけなかったのに…
あなたとの婚約話だって
受けるべきじゃなかった！

償いの気持ちもあり
最初は美穂の代わりでも
いいと思っていたんです

でも結局は私が
楓馬さんと一緒に
いたいただけだった

…あなたが今も美穂を
愛しているのがわかって…

もう耐えられないと
思ったんです

私はこれ以上傷つくのが嫌で
逃げ出そうとしている

新しい縁談話は
誤解だとわかりました
だけど…

やっぱり私はこれ以上
美穂の身代わりには
なれません

本当に…
ごめんなさい



自分の馬鹿さ加減に
呆れる…

楓馬さん
…?

言いたいことは
いっぱいある
でも先に一つだけ

俺は今まで一度だって
志穂を美穂の身代わりだと
思ったことはないよ



俺も最初から話すよ

どうも俺達は根本から
すれ違っていたようだから

…え？



元々美穂との縁談は
俺も両親も一度会うだけの
つもりだったんだ



でも
初めて桜井家を訪れたあの日
俺は一目惚れしてしまったんだ



縁談相手の美穂じゃない…
その妹である君に



え…



今…なんて——…？



…だって…
美穂の方が…

ずっと綺麗で
人に好かれて…



でも俺は
美穂の横で静かに佇む
志穂に心惹かれたんだ

なんでこの子は
こんなに寂しそうな
表情をしているんだろう

俺が
心から笑顔にしてあげたい

そんな風に思ったのは
君が初めてなんだよ



ほっ 本当に…？

俺は最初の顔合わせの後
美穂ではなく
志穂との婚約を
申し出たんだ

でも怒り狂った君の母に
突っぱねられてしまって…

そんな時 美穂が
訪ねてきて…

志穂を選ぶなんて
見る目あるじゃない

美穂…

俺は美穂から
相談されたんだ

自分達の母親が病的なほど
姉妹を差別して育てていること

志穂に冷たく当たる母親に
美穂が何を言っても聞き入れてもらえず
歯がゆい思いをしていること

そして…

美穂には好きな人がいるから
婚約話を受け入れることが
できないと…

…美穂に
好きな人が…?

うん
相手は二十歳年上の
大学教授らしいよ

美穂の高校で時折授業を
受け持っていてね

美穂の方から猛アタックして
ようやく付き合えることになっ
たって

そんなことが…

私の仮面婚約者になっ
てももらえないかな？

仮面婚約者…？

美穂は
俺をカモフラージュにして
自分の恋を成就じょうじゆさせようと
していたんだ

格別
裕福でも名家でもない彼を
うちの両親が
認めてくれるとは思えない

そこで
提案があるの

そして俺も仮面婚約者を
演じながら志穂との時間を
作ってもらっていた

どうして美穂は
私を誘うんだろう

あ…

ごめん…
志穂は美穂から聞いて
俺の気持ちを知って
くれているものとばかり
思っていて…

美穂から俺の気持ちを
聞いたことはある？

美穂を
愛していると
いうこと…？

…はい

あ…私…

…あの事故が起こる何日前
美穂の恋人が地方の大学の
教授として招かれることが
決まって…



美穂達は
かけおちするつもりだったんだ



志穂にだけはちゃんと
自分の気持ちを伝えて
おくべきだった
本当にごめん

楓馬さん…



じゃあ
あの事故の日…
美穂は私にそのことを
伝えるために…?

…おそろくね



…ずっと俺が
志穂を美穂の身代わりに
しているんだと
思ってた?



…もしかして
墓前の桔梗の花は
美穂の恋人が…

だって初めて
婚約者として会った時
切なそうに…

美穂に
よく似ているね

って

うん…？

そんなこと
言ったかな？
覚えてないな…

うーんたぶん
「ああやっぱり
双子って似てるん
だな」くらいの
気持ちだと…

えー！
しり
ろ

ん？じゃあ可愛くおしやれ
してくれていたのも美穂に
似せるつもりだったから？

…はい

ごめん
なんとなく美穂っぽいとは
思っていたけど…
可愛いなあとしか思っ
てなくて…

えっと…

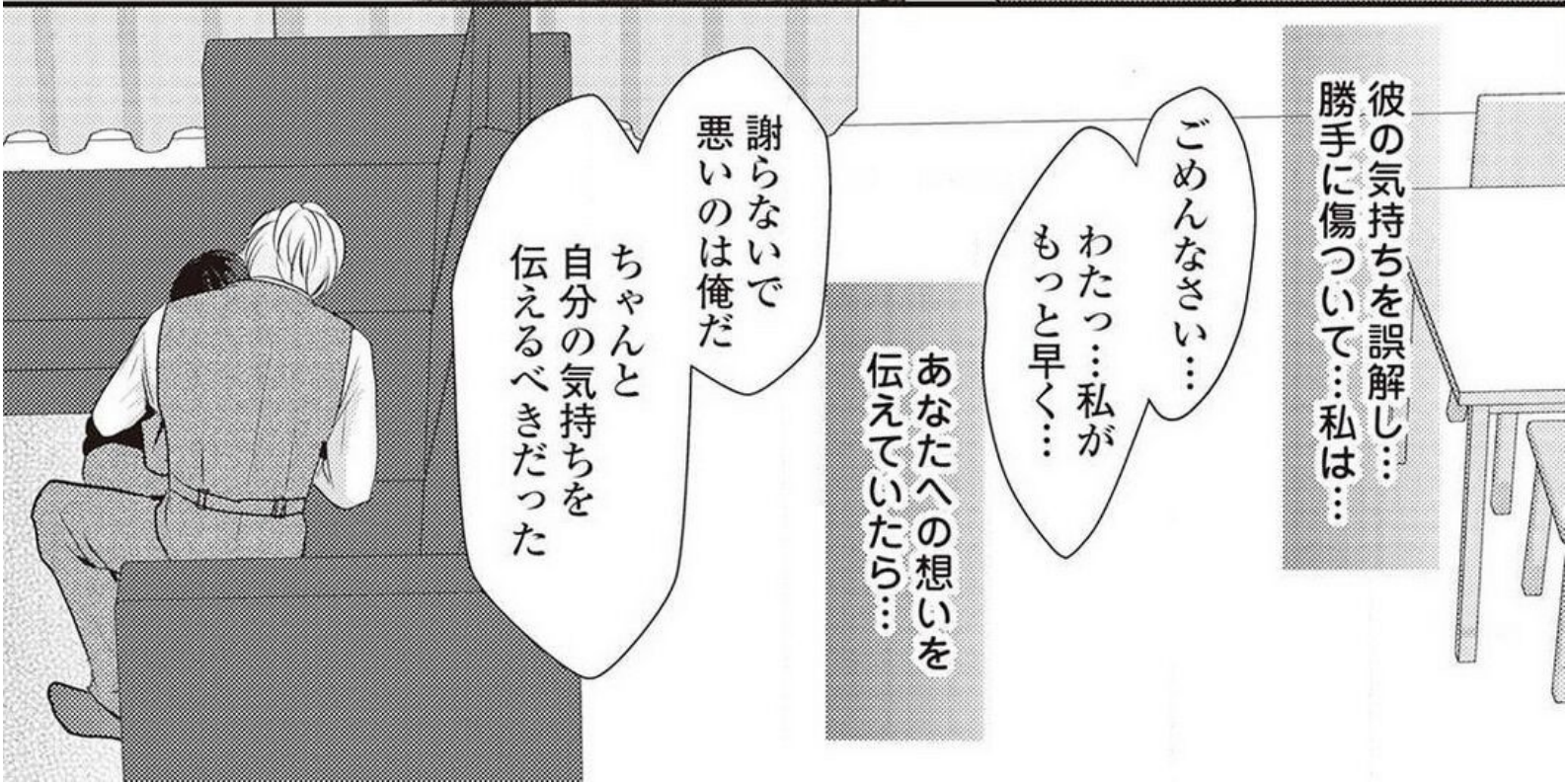
それじゃあ
私は最初から勘違いをしていた…？

志穂…



君はずっと俺が美穂を
愛していると思いつながら
俺の傍にいてくれたんだね

ごめん…
そんなことも気付かないで
ようやく志穂を手に入れたと
浮かれていた



彼の気持ちを誤解し…
勝手に傷ついて…私は…

ごめんなさい…

わたし…私が
もっと早く…

あなたへの想いを
伝えていたら…

謝らないで
悪いのは俺だ

ちゃんと
自分の気持ちを
伝えるべきだった



改めて言わせてほしい
俺は志穂…
君のことを愛している

これから先もずっと
俺の傍にいてほしい

ほっ 本当に…
こんな…

私なんかで
いいんですか…?





志穂しか
ほしくない



それは
ずっと…ずっと…

私がほしかった言葉…

私も…

楓馬さんしか
ほしくない…



俺は…

美穂の通夜の日に
不謹慎で卑怯な
ことをした

でも君を抱いたこと
後悔はしていないよ



私も…罪悪感を
抱いていました

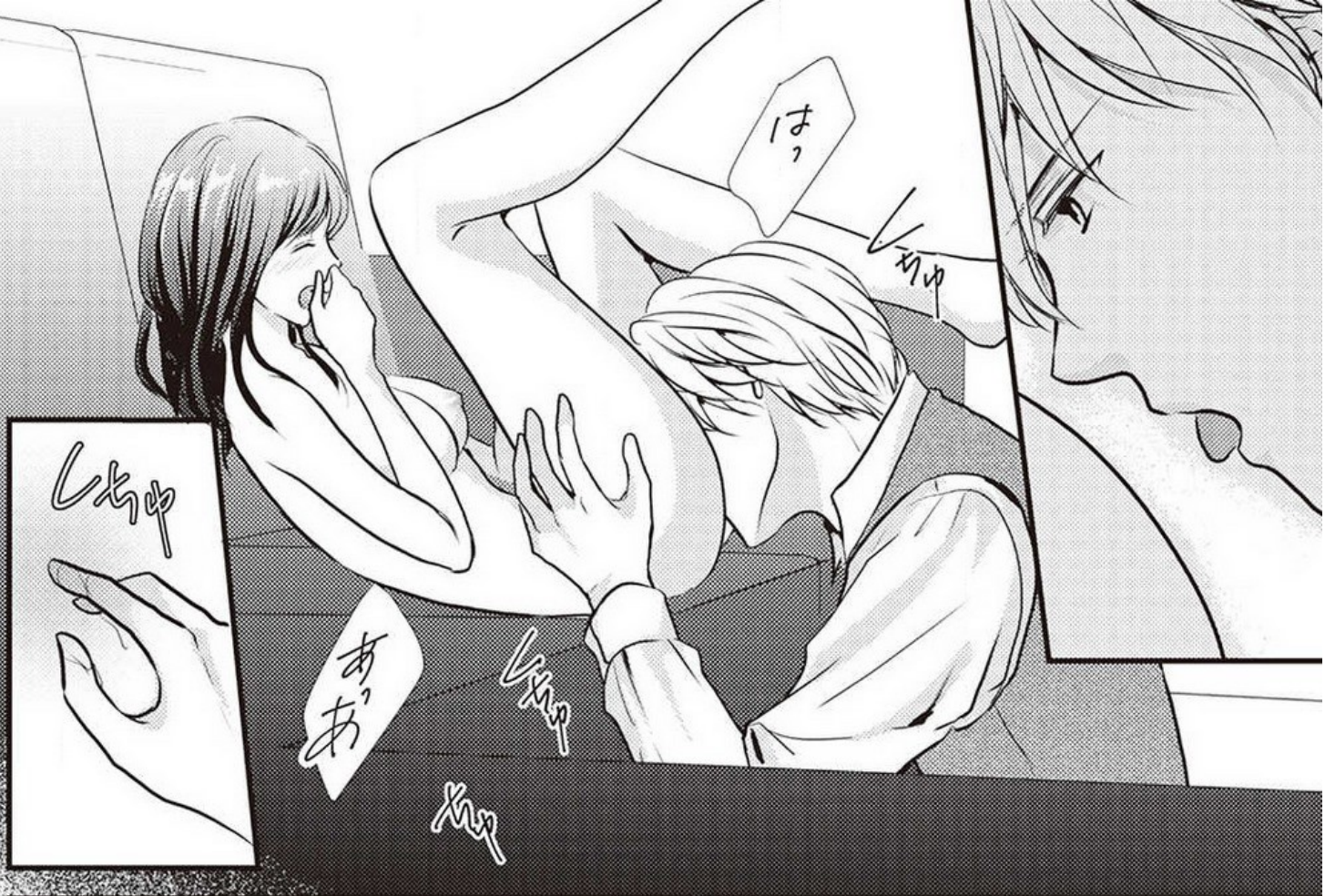
でも…それでも

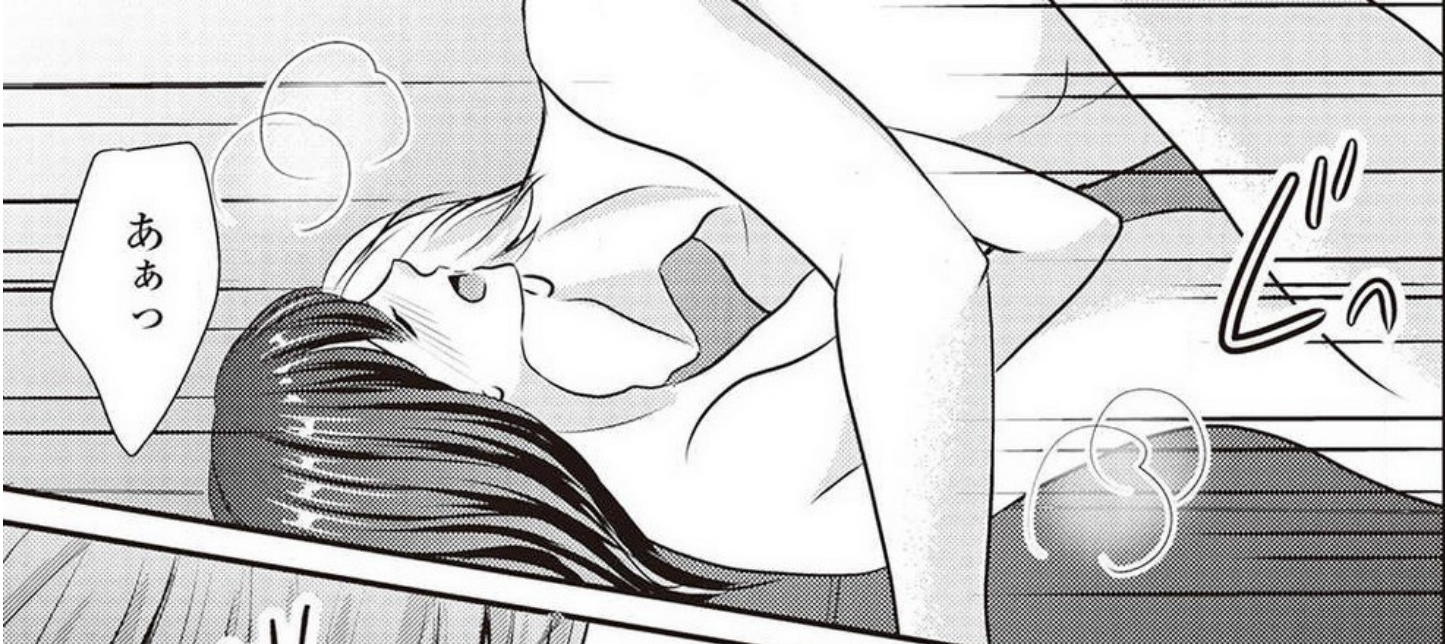
あなたに抱かれたこと
嬉しかったです

…志穂

たくさんたくさん
間違えてしまった私だけど…





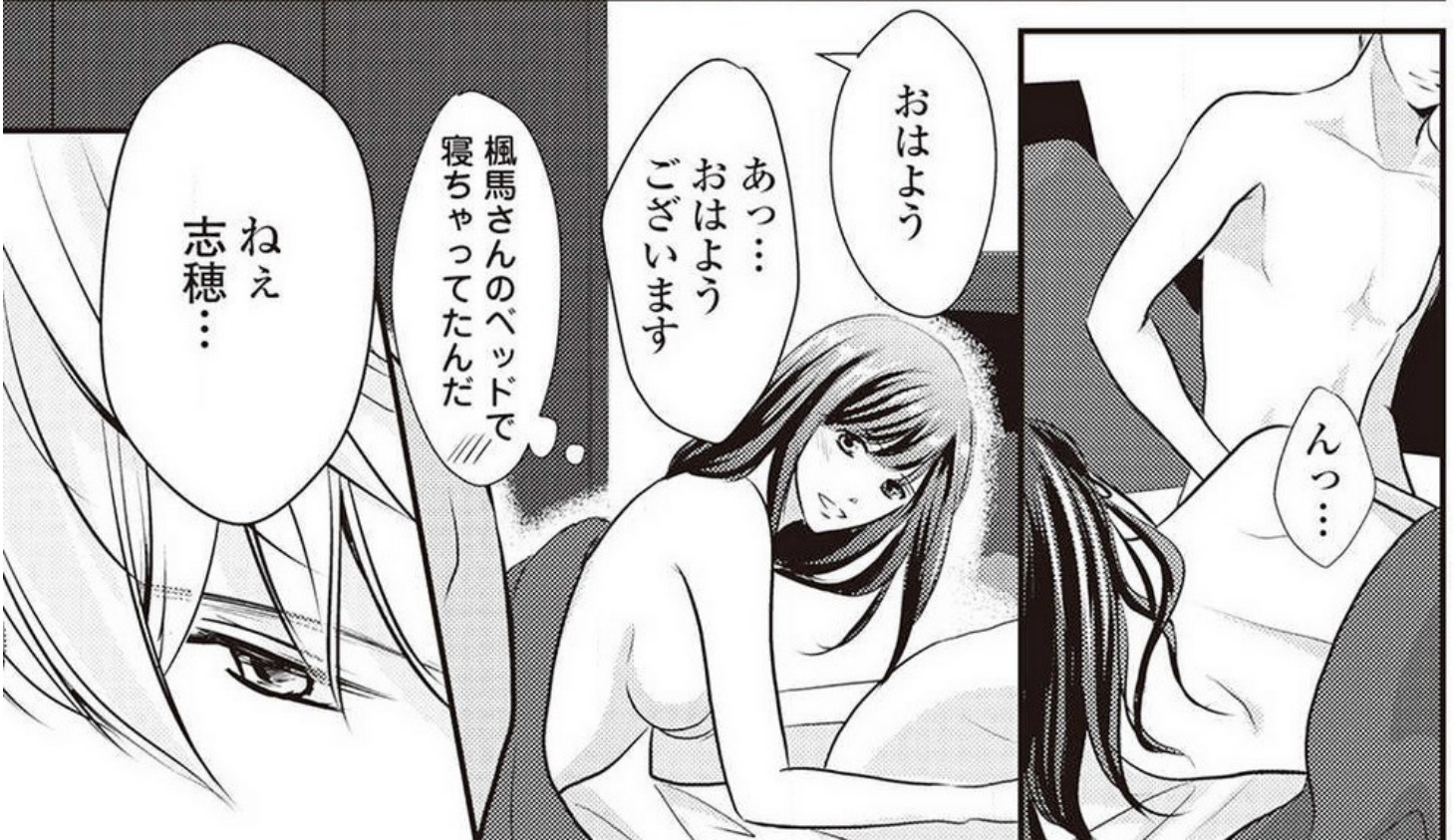


きゅん

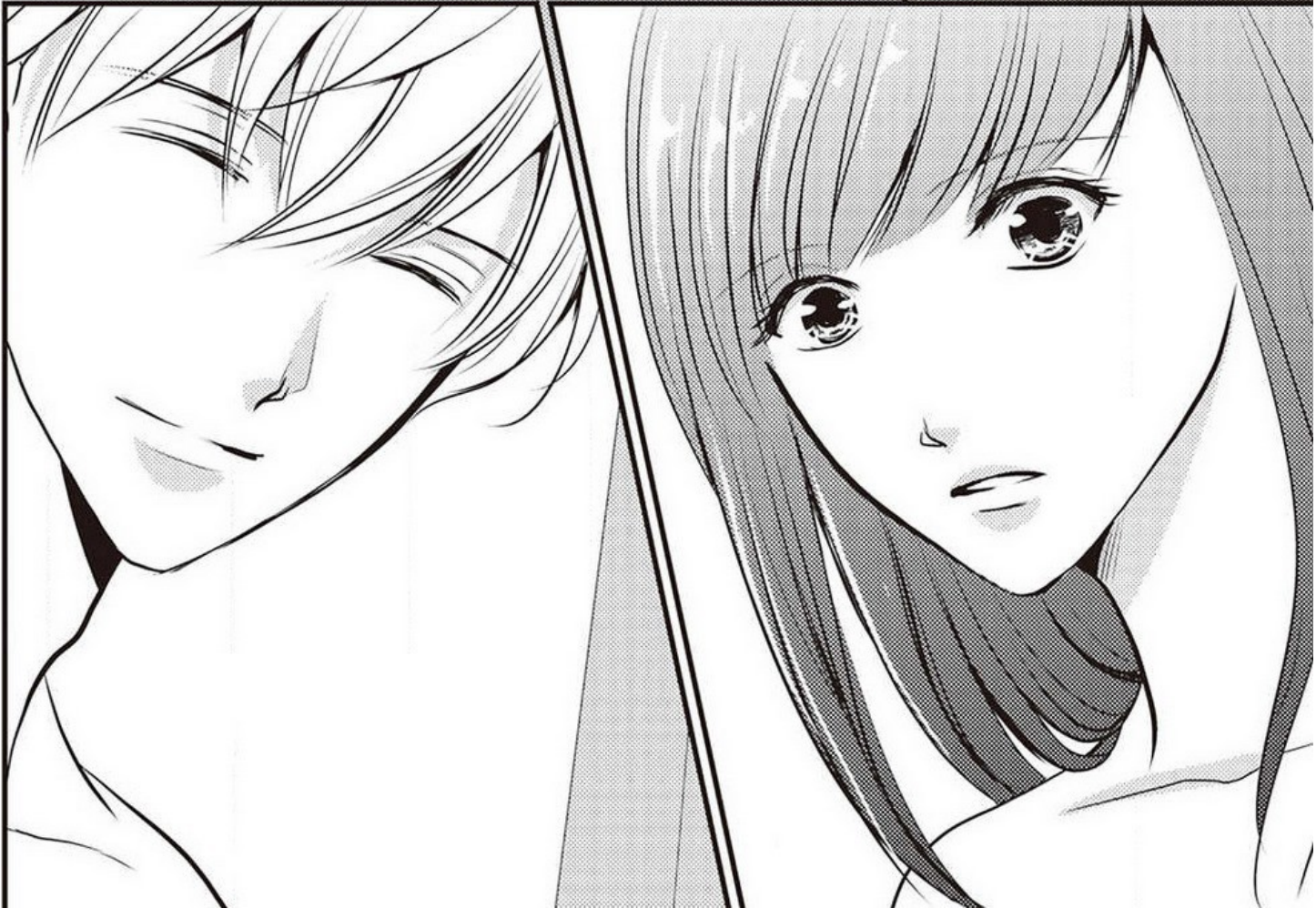
楓馬さん…

愛しています





俺と結婚
してくれないか？

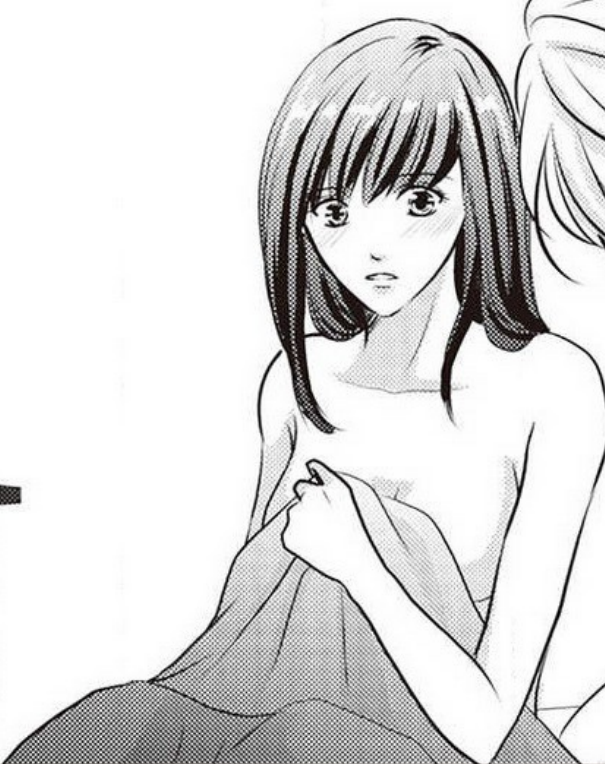




志穂と婚約したのが
美穂が亡くなって
すぐだったから

結婚までは
時間をかけようと
思っていたんだけど

昨夜
改めて思ったんだ



これからもずっと
一緒にいたい

放したくないって



楓馬さん…

嬉しい…



あ…

結婚となったら
きつと両親は…

志穂…？

ごめんさすがに
突然すぎたかな

あつ違うの

実は…

二人そろって挨拶に
来てくれるとはな

良い報告を聞かせて
もらえたらいいんだが

ええ
今日は俺達にとって
良い報告をしに
来ました

ほう！

近く
結婚しようと思います

いやあめでたい！

それなら近々
結納の場を
設けないとな

ああ
その前に三柳社長にも
改めてご挨拶に…

いいえ
その必要は
ありません

…は？
どうということだね？

今後俺達の人生に
あなた方が関わる必要は
ないと言っているんです

そうだろう
志穂

はい

どういう
ことなんだ
志穂

お父さんは会社の失敗を
楓馬さんや三柳家の力で
何とかしようとしているし

お母さんは
自分の借金返済のために
私を他の人と結婚させようとした
だから…

そそれは

借金!? 結婚?
どうということだ!?

何よー!

あなたの嫁ぎが悪くなったから
仕方なく借りたんじゃない!

お前には十分な
生活費を渡して
あるだろうが！

全然足りないのよ！
私は悪くないわ！



私や
美穂のことだって
都合の良い駒としか
思っていなかったん
でしょう！

二人共昔から
自分のことばかり！



いい加減にして！



それでも
愛されたくて
あなた達の娘で
いようと思ったた…

でも…
もう無理…

私が結婚するのは
楓馬さんと二人で幸せに
なるため！

お父さんとお母さんの
ためじゃない

もう二度と
私と楓馬さんに
関わらないで

…なっ！

まだそんなこと言ってるの？
親がこんなに困っているのに…
今までの恩を返そうとは思
わないの!!

本気でやれー！

親子の縁を切るなんて
できるわけないだろう
この親不孝者め！

ふざけたこと
言うな!!

これまでろくに
愛情を注いだことも
ないくせに
都合の良い時だけ
親の顔をするな

冷たい？
志穂は
あんた達なんかより
よっぽどあったかい心を
持ってるよ！

楓馬さん…

ふっ 楓馬くん
いくら君でも年長者に
向かって…

おじさんの会社相当
追い込まれているようです

このまま
手をこまねいていたら
遠からず
倒産するでしょうね

そそれは…

そしておばさん
どうもよろしくない筋から
お金を借りたようですね
利子を含め
三千万でしたっけ？

三千万だと!?

だって
仕方なかったのよ

今のうちには
そんな金…

志穂と親子の縁を切り
今後一切俺達に近づかない
のであれば

会社の立て直しが
終わるまでは三柳家が
援助します

父の許可も得てますので

ただし借金は
お二人でどうにか
してくださいね

そう
そんな
代わりに
返してくれたって…

多くを望むと
全てをとり零しますよ

…っ



…わかった



…お父さん
お母さん



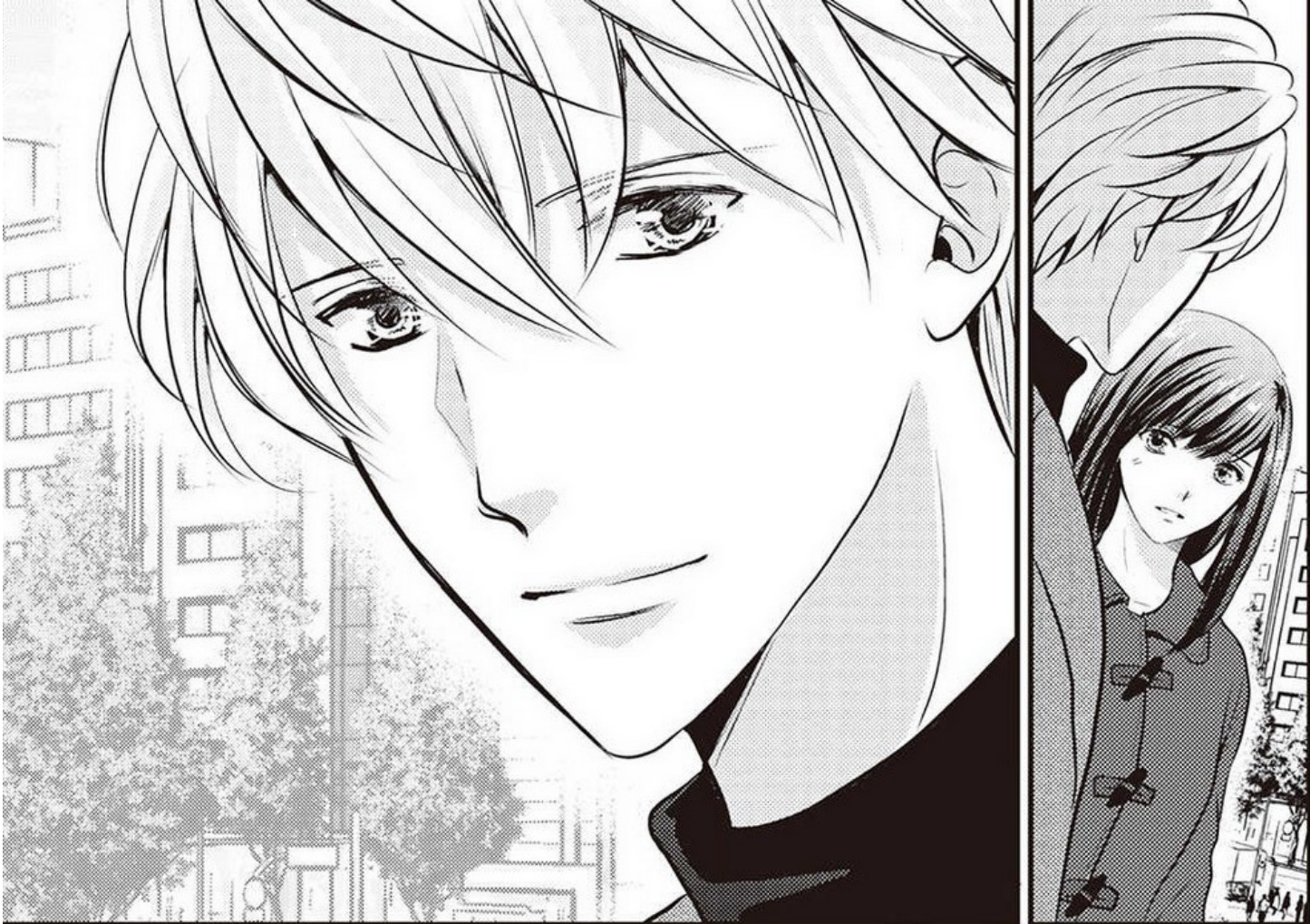
では後日
誓約書にサインを
お願いしますね

これまで育ててくださって
ありがとうございました

これで
全て終わったんだ…

志穂
大丈夫？





私には楓馬さんがいてくれる…

だから…

大丈夫…

ありがとうございます
楓馬さん



ほとんどなくて
私は三柳志穂になった





初めまして
おの
だ
か
ず
あ
き
小野田和明と申します

初めまして
三柳楓馬です

美穂の妹の
志穂です

今日は
お呼び立てしてしまつて
申し訳ありません



通夜の時の…

この人が
美穂の恋人だらんだ

これを
お渡ししたくて

中身を見て
これはあなたに渡した方が
いいと思ったんです

ノート…?

これは…

美穂が覚え書きとして
使っていたノートです
よくこうして自分の気持ちや
考えを文字に起こしていました

明日はぜったいラーメン食べに行
味噌ラーメン
早く和明さんと結婚したい！
越しの準備は順調。母にはバレてない
新天地でやりたいことリスト！
ご当地グルメ

『私はずっと母の理想の娘を演じできた。』

母の期待に応え続けた。』

『そうしなければ私も母に
無視されると思うと怖かったから。』

『だから母の異常な期待を受けず
両親から離れ自分の世界を広げた志穂が

私は羨ましかった。』

美穂…

『母のお人形でなくても
いいんだと思えるように
なった頃』

『小野田先生と出会った。』

『こんなに誰かを
愛しいと思っただのは初めて…。』

『どうにかしてこの恋を
実らせたい。』

でもうちの両親が
年の離れた和明さんを認めるはずがない。
そんな時…』

『嫌々した顔合わせ
だったけど…』

『私は
ある計画を思いついた。』

『でも志穂は素直で
顔に出ちゃうから
黙っておくしかないかな。』

美穂…

近く私は 和明さんと東京を離れる。
でもその前に 志穂にちゃんと話さないと。
そして 謝らなければ…。
私と 楓馬くんの婚約が偽装…

『私と楓馬くんの婚約が偽装で
楓馬くんが好きなのは志穂
だということを。』

『真実を知ったら志穂は
きっと怒るよね？』

でも志穂は優しいからきっと…。

ううん。許してくれるまで
謝らないと！』

…美穂…っ

怒るに決まっているじゃない…

でも…美穂のこと許して

でも志穂は優しいからきっと…
うん、許してくれるまで謝らないと!

ちゃんと明日、言うかな。
いざと、河和明さんを召喚する!

ボク

美穂が幸せになること
祝福したよ

『私は
運命的に恋に落ちた志穂が
とても羨ましい。』

『志穂にはこれまで苦労した分
辛い目に遭った分』

たくさんたくさん
幸せになってほしい——…。』

美穂…

私ずっと美穂に
後ろめたさを感じて
いたんです

私だけ幸せになって
いいのかなって…
でも…

美穂ならきつと
心から笑って喜んで
くれますよね

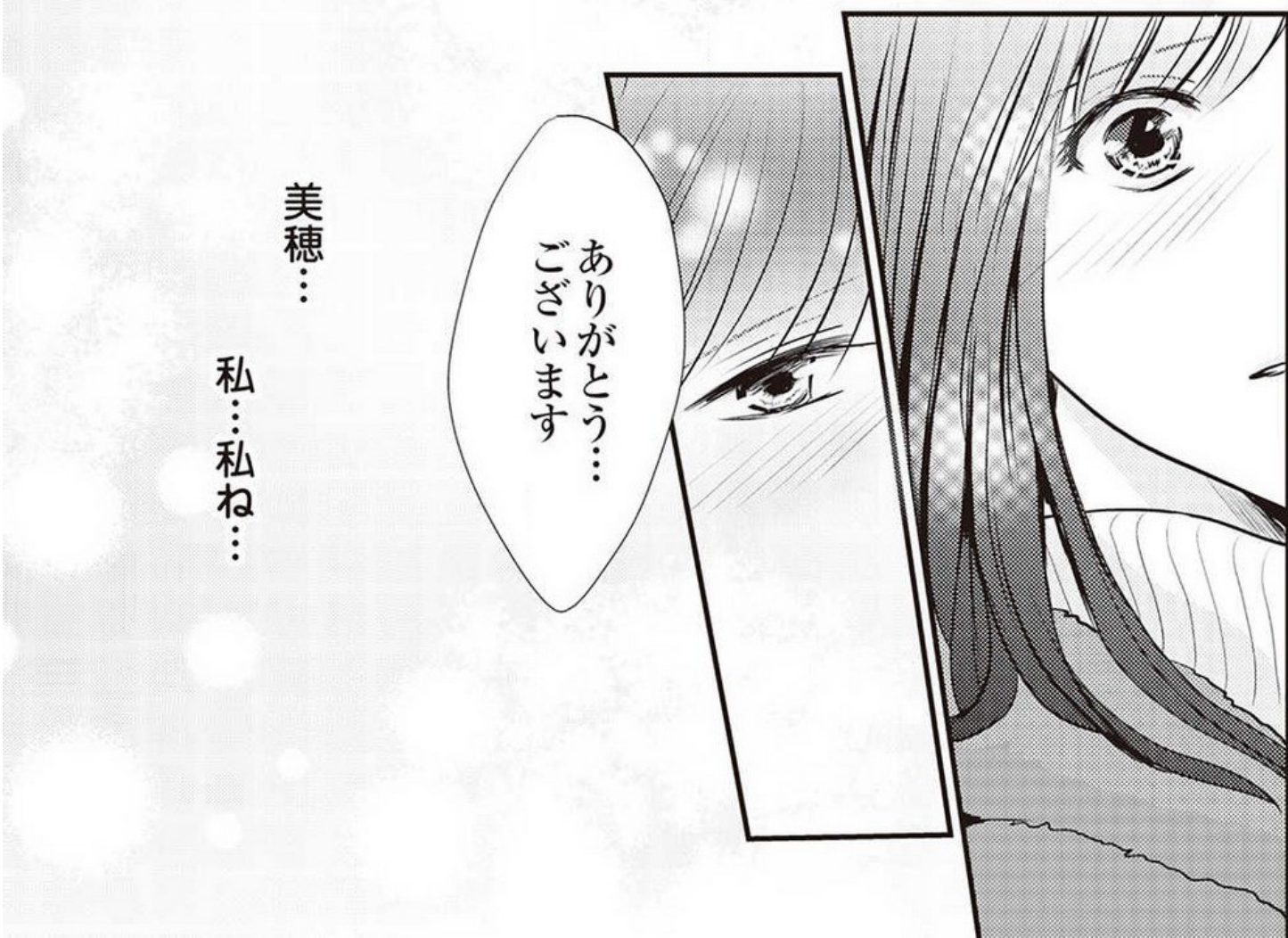
志穂

…そうだね



これから先

俺は必ず志穂を
幸せにする



ありがとう…
ございます

美穂…

私…私ね…

美穂の分も
幸せになるよ

これから先も悩んだり
苦しむことがあるかもしれない

でも…

この日の空の青さと
この手の温もりを忘れなければ

きっと乗り越えていける

楓馬さんと二人で…



～番外編～

わあ美穂見て
すぐくかわいいよ

イルカ

バ：ンドウイルカ…
だって！
これもいるのかなー

あつうちにいる
熱帯魚も
いるかなー

ホント志穂は
動物好きだよ

だって
家族で出かける
なんて
久しぶりだよ
楽しみだなー

ねえ
なんでー？

図鑑



また今度にすれば
きつと志穂も一緒に
水族館に行けたのに

お父さんの
都合のいい日が
今日しかなかったのよ

志穂
楽しみにしてたのに
かわいそう

しょうがないでしょ



こんな時に
熱を出す志穂が
悪いのよ

…志穂は
何も悪いことしてないのに

昔から我が家は
変だと思っていた

だけど
志穂のように扱われるのを
恐れた私は
母の理想の娘を演じ続けた

なんだか
人形みたい…

おフロ空いたよ

ありがとう

ニ

志穂…
家から出るの？

初めて
一人暮らし
BOOK

うん…
大学では一人暮らし
してみたくて

一人暮らしの

志穂は…

私なんかより
ずっと強い…

外で自分の世界を
広げることにはできるんだ

そうだよな
家の中だけが全てじゃない

——この
「かな」は終助詞で
「くだなあ」の意味で——…

失礼しまーす

源氏の君を想うがゆえに
だなー桐壺の更衣は…

先生集めたプリント
持ってきました

おありがとな

だが儂くもこの
恋は——…

あはは
先生が語るの
ギャップ
ありすぎー

な

あ、
すみません…

俺だって
好きなもの語る権利は
あるだろ？

自分を偽って
生きるなんて
楽しくないと思うしな

大学教授の先生が
うちの高校に来る機会は
少なかったけど

人生は
楽しんで
もん勝ちだ



先生を見つけると
いつも目で追ってた



こんなに誰かを
愛しいと思うのは初めて



だから何度断られても
諦めきれなくて

大学二年の時……

こんなに
おじさんだぞ

本当に俺なんかで
いいのか？



私達の結婚を両親は
きつと認めてくれない

だから私達は
二人だけで幸せになる道を
選んだ



結婚と両親はさっさと別れてくれ
二人だけで幸せになる道を選んだ。
和明さんと二人で...



また読んでいるの？

美穂と小野田さんって
素敵だなあって



えっ

／＼／＼

はっ

しゅん





小野田さんの語る
美穂の姿は
活き活きしてとても
幸せそうだった

美穂も
とっても素敵な人と
恋をしたんだね

『身代りの婚約者は恋に啼く。』とお手にとっていただきありがとうございます。
コミカライズを描かせていただきました秋月綾と申します。

志穂や美穂や楓馬のそれぞれの思いを感じながら楽しく描かせていただきました。
原作では漫画では描き切れなかったエピソードと共に
なかやん先生の 志穂と楓馬の素敵な世界もご堪能いただけます。
是非原作小説と併せて楽しんでいただけたら嬉しいです。

原作者のなかやん先生は先生、読んでくださった皆様。
関心してくださった全ての皆様、ありがとうございます。

秋月綾 

志穂のウェディングドレス姿を
描いてみました！
もし美穂もいたらこんな感じ
だったのかな。





みが こんやくしゃ こい な
身代わりの婚約者は恋に啼く。

原作：なかゆんきなこ 漫画：あきづきりょう 秋月綾 キャラクター原案：やざき 夜咲こん

2020年12月31日電子版発行

発行者—梶本雄介

発行所—株式会社アルファポリス

〒150-6008 東京都渋谷区恵比寿 4-20-3 恵比寿ガーデンプレイスタワー 8F

TEL 03-6277-1601 (営業) 03-6277-1602 (編集)

URL <https://www.alphapolis.co.jp/>

装丁デザイン—AFTERGLOW

(レーベルフォーマットデザイン—ansyyqdesign)

©Kinako Nakayun/Ryo Akiduki 2020

本作品は書籍で刊行したものを電子書籍化にあたり再編集したものです。

本書の内容の一部あるいは全部を無断で複製・改ざん・公衆送信（インターネット上への転載等）をすることは、法律で禁止されています。個人的な使用を目的とする場合でも、コピーガード等の著作権保護技術を解除して複製等を行うことはできません。
